京城日報
六日夕刊
本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 三ヶ月金壹圓六拾錢 六ヶ月金三圓七拾錢 ▲郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲指定場所一行金壹圓貳拾錢 ▲三號活字一行は五號活字の一行に倍し五號活字同樣の事
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 合資會社京城日報社
電話番號(編輯局 營業局) 振替貯金口座

○英國政府の危機迫る

政府の危機迫れる兆候歴然たり政府は優柔不斷なる徒らに左顧右眄して時機を失する嫌あり政府は此の際斷然決する所ありて一層强硬なる手段方法を用ひ戰爭を遂行すべしとの輿論日日勢力を得つゝあり內閣員中攻擊の焦點となれるは首相アスキス氏海相バルフオア氏及び外相グレー氏にして多數階級の人々及新聞紙は之等三政治家の行動に關して忌憚なき批評を加へ居れり彼等は又曰く現內閣員の多くは最早戰爭に倦めりと斯かる有害無益なる內閣は宜しく之を辭職せしめ斷乎たる決心を有する閣員より成れる少數の內閣を組織すべしと言へり(倫敦電報)

○皇帝の政府改造裁可

倫敦來電=英國首相アスキス氏は皇帝が政府の改造を裁可せる旨を發表せり(紐育電報)

○獨軍羅都を砲擊す

コツペン、ハーゲンよりの報道に依れば、獨軍は去る三日十一哩の距離よりブカレストを砲擊せり(紐育電報)

○對獨通商禁止法案の廻附

巴里會議に於て決議せられし對獨通商禁止に就て我が全權委員たる阪谷男は我が特殊利益に反對せざる限りの條件を保留して承認し置きしが愈々政府は之を決定する事に決し目下其の法案は樞密院に廻附せられたるが同院は委員會を開き之を審査し上討議すべく結局遠からず發表せらるゝに至るべしと(東京特電)

○鐵道制度復活

技監復設=副總裁の更迭豫想

五日の定例閣議に於て鐵道院に技監制度を復活する事に決定せるが新に技監に就任すべき候補者としては現中部管理局長長谷川謹介氏の呼聲最高く又同氏の技監に任命と共に鐵道院幹部中に移動あるべく現副總裁古川阪次郎氏の病氣引退及び現九州管理局長長尾半平氏の副總裁就任は動かざる所なりと(東京特電)

○北鮮入營新兵

羅南及び會寧軍營に入隊す可き新兵一千三百三十七名は五日平丸にて淸津入港六日朝上陸羅南會寧へ向け出發せり(淸津特電)

○東鐵解決期

東淸鐵道讓受の件は內田新任露國大使赴任と共に解決す可しと(東京電報)

○特使朝鮮經由

支那特派使曹汝霖氏は十三日北京出發京奉線により朝鮮經由來朝の事に決したり(東京電報)

○樞密院會議 召集

六日午前十時より樞密院會議を召集し樺太廳官制中改正の件を可決せり(東京電報)

○山城近海試驗

戰艦山城工事成り十四日より近海に於て試驗す可し(東京電報)

○海軍協會創設

海軍協會創設せられ橫須賀鎭守府司令長官東伏見宮殿下を總裁に推戴せり(東京電報)

○日露協會總會

日露協會總會は十六日に延期せられたり(東京電報)

○鮮銀總裁招宴

新任朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏は八日東京市內新聞通信社の代表記者招待宴を催ふす筈(東京電報)

●十一月の朝鮮貿易

累計總額一億一千三百七十九萬七千餘圓

貿易の權衡は結局六百三十萬餘圓の入超

▲當月貿易額 十一月の朝鮮貿易額は輸移出品價六百八十四萬二千六百九十六圓、輸移入品價七百七十八萬八十三圓、合計一千四百六十二萬二千七百七十九圓にして之を前年同期に比すれば輸移出貿易は百四十九萬八千餘圓、輸移入貿易は二百八十九萬四千餘圓の各增加を示せり

▲本年累計額 本年一月以降十一月までの貿易額は輸移出品四千七百十九萬四百七十五圓、輸移入品六千六百六十萬七千二百六十四圓、合計一億一千三百七十九萬七千七百三十九圓にして之を前年同期間に比較するときは輸移出六百二萬九千餘圓、輸移入千三百六十二萬三千餘圓、合計千九百六十五萬二千餘圓、卽ち二割餘の增進なり、而して貿易上の權衡は千九百四十一萬六千餘圓の入超なるも一面金銀地金の流出超過額千三百十萬五千餘圓と相殺するときは六百三十一萬千餘圓の入超に過ぎざるなり

▲輸移出狀況 十一月中の輸移出貿易を前年同月に比較するに(一)米穀は內鮮共に市價昂騰し移出の引合を見たると本年の收穫高は水害地方ありしに係らず千二百四十餘萬石に上る可き見込にして近年稀有の豐作たりし大正三年の實收額を超過し加之滿洲に於ける販路好況なるに依り各開港とも出荷激增し前年に比して三十萬餘圓を增加せり(二)大豆は滿洲銀價高の爲め輸出澁滯したるのみならず北海道產減收の爲め內地の在荷拂底し、需要は專ら朝鮮產に向ひたるが故に當月二十二萬餘圓を增進し、其の他北鮮地方產出の豌豆、豌豆は時局の影響に依り昨今著しく買進まれ兩品を通じて當月十一萬餘圓の出荷あり(三)棉花は本年氣候遲れの爲め出廻り盛期に至らず三十萬餘圓を減じ、牛皮は十五萬餘圓人蔘は十一萬餘圓の各減退を呈し(四)鑛產品に在て重石は十六萬八千餘圓を增し久原精錬所の含金銀粗銅は當月四十八萬餘圓の移出を計上したる等の爲め合計に於て前述の如く約百五十萬圓の增進を示せり

▲輸移入狀況 次に輸移入貿易を前年同月に比較するときは大體に於て米穀の增收及び市價騰貴並に棉花の暴騰等鮮人購買力を旺盛ならしめ(一)衣料品にて綿織系は金巾類木棉類孰れも十萬乃至四十萬圓の增加を告げ(二)一般消費品に在ても石油二十一萬餘圓、砂糖二萬三千餘圓、紙類八萬餘圓、マッチ三萬餘圓の各增進を示し(三)更に產業原料品に在ては鐵、諸機械、石炭、爆發物、セメント等孰れも尠からざる增加にして前年同月に比し減退を見たるは僅かに小麥粉等數品に過ぎず

▲出入重要品 十一月及び本年一月以降の累計に依る輸移出入重要品價を表示すれば左の如し

輸移出重要品(圓)

品名	十一月	一月以降累計
米	二、四八二、四四八	一四、七一〇、八三六
大豆	一、一五四、〇四九	四、五四二、五二三
其他豆類	一一六、四四六	一、八〇〇、九七八
鮮魚	一一五、二八四	一、五〇〇、九〇〇
乾魚及鹽魚	一五六、〇〇七	九八三、一七四
人蔘	三、七六二	一、二七六、四七七
棉花	一〇六、〇〇〇	一、一九九、四五五
繭	六、二三三	四六七、八三七
金鑛及沙鑛	三四一、五七九	九八四、四八八
鐵鑛	六三、三二一	五三六、九二二
重石	一二五、〇七二	一、五五四、九二七
石炭	三一、五三九	三九一、三二四
含金銀粗銅	四八八、四四四	三、三六〇、四五二
牛皮	三四七、五一〇	三、二〇六、五四五
皮革製品	五四四、一六四	二、八〇九、五六九
煙草	四二、七六四	五三九、〇〇一
生牛	四七、四七八	三七八、三八七
木材及板	一九、五〇〇	二四〇、四二五
其他雜品	一、〇五七、六五一	八、六七六、二五六
合計	六、八四二、六九六	四七、一九〇、四七五

輸移入重要品(圓)

品名	十一月	一月以降累計
米	五、六三六	一九九、三〇六
粟	五、一四三	七九、九〇八
小麥粉	四九、七五二	七九二、五六〇
食鹽	九四、六三六	一、〇二四、三六〇
砂糖	一四二、二九八	一、六八九、〇九九
石油	三六一、〇〇〇	[illegible]
繰綿及打綿	一二八、四五三	一、九一四、四七八
綿糸	二九一、一四二	六三六、八一七
生金巾及生シーチング	八九二、二三二	二、七二一、七一八
晒金巾及晒シーチング	三一五、〇八七	六、一七二、七五七
天竺布	八八、六一〇	二、六七三、七二九
綿繻子綿及イタリアンス	一三四、三八三	六一一、三〇二
日本木綿	三〇七、一六〇	六九六、九七七
支那麻布	三二〇	二、五二三、一五三
毛織物	一四七、八〇四	一、六一二、五七九
絹織物	一一六、六五四	五一九、六九七
交織布	一〇、七八九	一、一二三、六一二
[illegible]	八四、二二五	七二二、九二七
其他紙類	一一三、一三七	一、〇五四、三九四
[illegible]鐵	二六二、八一二	一、〇九〇、四一二
鐵管及管	二三、四一〇	一九三、四二三
機械及附屬品	三七、三五四	五二七、二二二
鐵道機關車	四、一三七	一四五、二九二
諸器械	一三四、四七九	一、七二七、四〇九
煙草	五七、一一〇	五二一、三二五
石炭	一五九、七九八	一、六七〇、四〇六
木材及板	一〇九、〇三四	一、二二二、九六二

▲港別貿易額 尙ほ之れを港別に示せば左の如し

輸移出(圓)

港別	十一月	一月以降累計
仁川	五七八、二六九	五、八九七、〇九〇
釜山	二、九二〇、〇一四	一七、三七七、一〇〇
元山	七〇五、〇五四	[illegible]
鎭南浦	一、〇二八、九五九	[illegible]
京城	二五〇、〇一三	[illegible]
群山	五四四、九六三	[illegible]
木浦	一七三、四三三	[illegible]
大邱	二三三、三五二	[illegible]
馬山及鎭海	五一、五二二	[illegible]
淸津	一五九、四六一	四一七、二五六
城津	五六、九八〇	六九一、二二五
新義州及龍岩浦	二九七、六五五	二、五七一、四一四
平壤	六三、〇二三	三八一、四四二
合計	六、八四二、六九六	四七、一九〇、四七五

輸移入(圓)

港別	十一月	一月以降累計
仁川	一、六〇二、四一八	一五、六四四、三四九
釜山	一、九〇五、八七六	一五、〇二一、七九三
元山	三八三、一三八	[illegible]
鎭南浦	四一八、八九一	三、二九八、八三三
京城	一、七〇一、〇一五	三三、一三一、六二二
群山	二五七、九一六	二、〇二六、八六四
木浦	二〇七、一四九	一、六〇七、六一四
大邱	二九七、三九五	二、一五二、二〇六
馬山及鎭海	九三、〇五三	八六六、四三六
淸津	二〇一、二二九	二、二七三、〇三〇
城津	九九、四〇〇	八一九、七二一
新義州及龍岩浦	二四一、四〇一	二、九九〇、九七六
平壤	三七一、二〇二	二、八二四、七九一
合計	七、七八〇、〇八三	六六、六〇七、二六四

○農學校長會同 (第三日)

各道農業學校長會同第三日は前日に引續き六日午前九時三十分より總督府第二會議室に開會、第二日は都合により日程を變更して午前午後とも聽取事項の聽取ありし爲め第三日は山縣政務總監臨場一同に對して訓示及び指示ありたり

○渡歐武官入京

歐洲に於ける視察研究を命ぜられたる大阪砲兵工廠製造所長砲兵大佐長野四郎東京砲兵工廠小銃製造所長砲兵大佐(內部)觀次郎の兩氏は渡歐の途六日朝入京巴城館へ投宿したるが長野大佐は軍用自動車の製作大島金子兩大尉は兵器材料の調査を爲し全歐洲の重なる工場を視察して來年六月歸朝の筈にして途中哈爾賓よりは數名の同伴者ある可しと

○鮮銀券の膨脹

制限外發行には非ず

五日夕刊に「鮮銀券大膨脹」と題し朝鮮銀行券の發行高四千六百八十四萬圓に上り百八十四萬圓の限外發行となりし旨記載せしが右は誤聞にて朝鮮銀行法に依る時鮮銀券の發行は正貨準備に基づくを原則とすれども其の保證準備發行も三千萬圓迄は之れを認めあり而して三千萬圓以上を保證準備にて發行せんとすれば之れ乃ち限外發行となり朝鮮總督の認可を要し五分を下らざる發行稅を課せらるゝ譯なり但し鮮銀にては保證準備は三千萬圓の制限に達せるもそれ以上は銀行券の增發を保證準備によらず正貨準備にて發行せる爲め四日の大膨脹も限外發行とはなり居らざる譯なり但し銀行にて之れを限外發行に據らんとすれば總督の認可を受くる時據り得る譯にて本紙既載百六十四萬圓限外發行云々は限外發行として發行さるべき能力を有する額と見るも可なる譯なり

○鮮銀英債受附

二日より朝鮮銀行にて賣出せる英國國庫債券は東京電報の報せる如く應募額募集額に達せるを以て五日之れが受附を締切りたるが鮮銀にては各支店申込の分は直接東京支店に電報せるを以て未だ本店に纏まらざる由なれど本店への申込は內地人一名朝鮮人二名合計九千圓なりと

○仁川の歲末金融

滯貨の影響如何

鶴島鮮銀支店長談

▲出穀時の滯貨 出穀時季に際して米豆の搬出は彌々多く內地米界好勢なる爲買注文は頻到し一般商況は殷盛を呈しつゝあるが茲に問題となれるは船腹關係なり、卽ち滿洲北支、靑島行精白米は至極順調に輸出せられ居るも內地行は目下大豆、雜穀及び玄米三〇、〇〇〇個、精白米二〇、〇〇〇個、合計五〇、〇〇〇個の停滯にして何日々四、五千個の廻著あり是が輸送力は刻下の緊急問題として喧しきが本月中の船腹は定期航路商船八回三二、〇〇〇個尼崎八回二四、〇〇〇個の外に十五日頃臨航商船臨時船一二、〇〇〇個は殺は冬期氷結中秦皇島より大連經由當地寄港二般又朝鮮郵船は目下交渉中にて定期船は總て運賃六二圓、臨時船一二、〇〇〇個は九五圓なり鐵道運貨に一方に損出あると共に一割引の恩典を受くることなれば結局年內に滯貨を一掃することは勿論不可能なるも此上著しき停滯なかるべしと思はる又當地は南鮮諸港と異り米豆取引所ありて先物賣買は取引所に於て行はるゝを以て內地移出先に對する先物賣は精米及び大豆の一小部分を除く外は先づ皆無と言つて差支なきを以て船舶、貨車の缺乏又は運賃暴騰により不引合となれば當地商人は勢ひ地方買出を手控へるにより滯貨は割合に多からず當地は年末に至るも極端なる貨物の停滯を演ぜずして濟むべき見込なり

▲穀類在庫高 目下當地在庫高は玄米一一九、〇〇〇、精米九、〇〇〇、粉四、六〇〇、大豆四二、〇〇〇、小麥一一、六〇〇其他雜穀共總計一九六、〇〇〇個の多數なるも此の內玄米の大部分は取引所受渡準備品及び精米原料等にして目下實際移出の目的を以て船腹缺乏の爲め停滯せるものは前記の通り五〇、〇〇〇に過ぎず、而して由來當地は他港に比し完全なる倉庫多く卽ち當地倉庫收容力は從來の一五〇、〇〇〇個と本年新築したる穀物協會倉庫四〇、〇〇〇個と稅關臨時特許倉庫六〇、〇〇〇個合計二五〇、〇〇〇個の收容力あるを以て先づ野積等の場合はなかるべく尙多少の空積あるも此等は將來準備のため大手口商人の爲めに已に借入の豫約を了したる有樣なれば若し此上著しき停滯を生ずる如きことあるに於ては貨物の保管場所に窮する場合なしとも限らず

▲輸移出高の金融 右の如く移出に於ては船腹不足の爲め積出意の如くならず隨つて買出を手控へたる爲め內地の買注文に一々應ずる譯に行かず勢ひ取扱高の減少となれり尤も目下米は前年に比し一圓乃至一圓五十錢高、大豆は二圓高、牛皮は五圓高にて商人は此高値に乘じ相當利益を得たるも本年中を通じて大豆、牛皮は兎に角米は概して不味なりしこ又近頃に至り內地米價漸騰のため引合ふ樣になりたるも積出困難の事情もあり結局當年輸出商の利潤は多からざるべく又例年當地米穀買出資金の產地廻送は四五十萬圓なるも當年は船便少く買出手控への爲め地方放出資金は二三十萬圓の見當にて是等の回收は自然遲緩す可きを以て輸出商の年末金融は幾分逼迫を來すことあるべし

▲輸移入商の金融 輸移入商側は此秋以來諸品物價暴騰の爲め先高の思惑移入旺盛にして綿布の如きは前年に比し五割、雜貨は三割高を來したるを以て何れも相當の利益を擧げたるも地方農民は米豆の豐穰と價格漸騰に拘らず輸送機關缺乏のため放資意の如くならず强て放資せんとすれば勢ひ非常なる安價を覺悟せざるべからず產地の相場は日に漸落し所謂米を抱いて懷寒しの有樣にて鮮人の購買力は案外裕ならず隨て輸移入品の賣行減少亦不已得處にして輸移入商は相場に於て少からざる利益を得たるも爲替資金の支拂等繁忙に赴くべし然れども幸に是迄金繰は年末に近づくに從ひて次第に地方へ賣込たる代金は地方が一般の豐作なりしと大豆總額の六割方既に高値放賣したる等にて相當購買力を有するを以て賣掛手形は極めて順調に行はれつゝあり又前記の理由にて地方が多額の仕入をなさざる關係により年末に及ぶも手形回收困難の聲はなかるべし

▲一般は好景氣乎 要するに本年當地年末の商況如何は一に船腹問題によりて決すべく而して目下の狀態にては到底滿足なる解決を望み難く隨つて其後の商ひ高は例年に比し幾分減少すべきも輸移入商共に相場の上に於て相當の利潤を得たるを以て搬出困難を感じつゝ有る者も勘定なるを以て一般商況は先づ好景氣と云ふを得べく金融は一般的に逼迫を來すことなくして年末決濟も亦何等支障なく無事結了すべしと信ず

○鮮銀總裁消息

朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏は十日頃入京の豫定なりしも或は多少遲延するに至らんかと云ふ

○水越頭取入京期

水越北海道拓銀頭取は六日入京の筈なりしも都合により若干延期せり多分十日前後となるべし

○韓相龍氏招宴

漢城銀行專務取締役韓相龍氏は六日午後六時より小原農商工部長官秋山中樞院書記官長荻田總務局長、有賀關稅課長永總務課長等總督本府の新任職員を自邸に招待晩餐會を催す

○松永道長官歸任

神尾書記外三名を隨へ管內敎育及び交通狀況視察の爲め四日午前九時南大門驛發江原道春川に向ひたる松永京畿道長官は六日午後歸任の筈なり

▲終航と仁川 既報の如く仁川に於ては滯貨處分に關し穀物協會より商業會議所に天津航路定期船三河丸、高砂丸、相模丸廻航の件を建議し會議所にては六日の役員會に於て協議の上適當の方法を講ずる由なるが右三船は今回を以て天津航路の終航なれば相當の貨物を呑み居らんも三隻の廻航に依り或程度迄は滯貨の調節を計り得べく更に穀物協會よりは本月中旬浦鹽航路の終航を機とし就航中の汽船を仁川に廻航を爲す可き樣朝鮮郵船本社に交涉中なれば兩方面共に廻航實現の曉は仁川の滯貨は何等前途憂ふ可き者に非ずと某穀物業者は語れり

▲客月郵便物數 仁川郵便局に於ける十一月の郵便物扱數を揭ぐれば引受個數七千四百九十にして昨年同期に比し六百三十四の增配達に於て一萬三百三十六個にて二千七百九十の減爲替に於ては受入十七萬四千六百七十三圓にして九萬千七百六十六圓の增拂出六萬二千百十圓にして一萬三千二百七十五圓の增なりし

群山

▲警務部長巡閱 全羅北道伊藤警務部長は管內各警察署巡閱の途三日夕來群し翌四日群山署に於て同署管內警務狀況を調査したる後群山小學校前庭運動場に於て署員の兵式練兵を檢閱講評ありたるが午後七時よりは當地官民有志の發起に成る花月の招待會に臨み參會有志數十名ありて頗る盛會なりし

▲商議役員選舉 群山商業會議所に於ては議員大岡純太郎氏辭任と共に自然役員一名の缺員を生じたるを以て近く商議員會を開き補缺選舉を行ふべしと

▲米商役員會 既報大阪商船尼崎汽船運賃値上の通告を受けたる群山米穀商組合は善後策に付研究中なりしが更に四日午後三時より組合役員全部會同し鳩首凝議する處ありたり

○安府動亂

白耳義アントワープ市に動亂起り獨兵と衝突し住民二百名及び獨兵多數の死傷者を出せり(紐育電報)

○特使派遣說 (歐洲)

支那政府は陸徵祥を贈勳特使として歐洲各國に派遣し各元首に勳章を贈呈せしむべしとの說あり(北京電報)

○神田憲兵中佐出發 入京

滯在中なりし忠南警務部長公州憲兵隊長神田中佐は六日午前八時三十分南大門驛發列車にて赴任せり

○交友會組織打合 京畿道警務部

京畿道警務部並に憲兵隊本部にて隊及部員の交誼を厚からしめんの目的にて交友會組織の議あり六日午前右に關し第一回の打合をなせりと

仁川

▲府尹京城出張 久水府尹は六日午前入京同日歸任の筈▲支那戎克 時節柄仁川港に支那戎克入港する者多く何れも山東省膠州附近及び石炭を滿載する者にして鹽は先月中石島より約四十艘二千噸以上の輸入を見石炭は內地炭拂底の折柄三井の手にて山東鐵道經營に係る淄川炭の入荷あり炭質は豐前一等炭に相當し目下稅關構內は木材及び石炭其他鑛山用諸器械滯積す

人事消息

▲森海軍少將(元總督府附武官) 七日午前八時三十分南大門驛發東上
▲岩本以明氏(京城地方法院長) 六日朝歸任
▲福島隆氏(明治鑛業重役) 六日朝浦尾へ
▲高梨榮次郎氏(海運業) 同上
▲牟田口元學氏(朝鮮瓦斯社長) ▲佐藤潤象氏(同重役) 六日朝退京
▲宮本政次郎氏(滿洲製粉社長) 同上
▲津村哲四郎氏(江原道技師) ▲武內進氏(咸南道技師) 同上
▲秋山勘藏氏(朝鮮公論社長) 五日夜內地より歸京
▲ミラー氏(京城駐在米國領事) 五日夜京義線
▲鍋島直映氏 五日午後七時半新義州より南大門驛著入京
▲今岡捷吉氏(龍川守備隊步兵大尉) 六日午前入京朝鮮旅館へ
▲三浦憲兵大尉(龍山憲兵分隊長) 六日朝內地へ
▲神田憲兵中佐(忠南警務部長) 六日午前赴任
▲堀江副子爵 ▲中村十郎氏(實業家) 六日朝南大門驛發內地へ
▲關原太郎氏(同) 同上
▲兼松太郎氏(同) 同上
▲福原末太郎氏(同) 同上

●大多忙の鐵道の大繁昌
車掌、機關手 臨時列車一日六往復

頃日來の貨物激増のために十一月末までに收入の實行豫算が三十萬圓も超過した鐵道局の中で引續き最も大多忙を極めてゐるのは何と言つても直接輸送の任にある汽車課だらう、偶然降つて湧いた

◆天災とは 言へ同じ十一月に二度迄も貨物列車が衝突して機關車の二三臺も一時に破損したりして汽車の運轉上餘程困難を感じはすまいかと氣遣はれるが壞はれた

◇機關車は 龍山の工場にだいてすつ分修繕も出來るし鐵道局全體を通じて百六十臺以上あるうち平常であつてもその十五六輛約一割位は工場に入れてあるので差當り

◆運轉には 差支へないが此の際不足を感ずるのは頃日來臨時列車を頻繁に出してゐるために現業員の不足であるが之れは已むを得ず來年二月に

◇卒業して 機關手、火夫の任務に就く教習所の生徒を臨時に使つてゐるが教習生と言つても長く現業に從事してゐて實務には經驗のある者ばかりなので敢て普通の

◆現業員と 變りはない、他の現業員も平時の從業時間は一日平均八時間だが昨今では九時間になつてゐる、貨物は益々殖ゑる一方なので營業課より要求の交渉に應じて臨時列車を出し

◇四日まで は南大門釜山間に三往復の貨物車を出してゐたが五日から大田以南に更に一往復增して京釜線は都合四往復となり此の外京義線には二往復の臨時を出してゐる

◈急行列車 には滯荷はせず混合列車でも甚だしい過積をしないので列車の遲發延着、その他の事故も尠ないさうである

●女の風呂敷から爆藥
南鮮密漁團連累者悉く縛に就く

南鮮沿海の漁業季節なる十月頃より例年不正漁業者蝟集し來り漁撈を爲す爲め其筋に於ては專ら警戒を怠らざるが近年は慶尙北道甘浦、九龍浦附近を根據とし盛に不正漁業をなす者多く本年の如きは殊に甚しく彼等が使用する

▲爆藥の出所に 就き嚴探するも更らに分明ならず且つ從來漁撈物は釜山又は漁場附近の地に於て賣捌き居たるも其筋の警戒嚴重なりし爲め彼等は一策を案じ馬關及び博多の魚商屋と諜し合せ發動機据付の買取船を回航せしめ漁場の沖合に於て賣買を爲し阪神地方へ廻送しつゝあるより倍々檢擧に困難を感じたり然るに爆藥の出所は確かに釜山及び牧の島より供給を受け居れる模樣なるを探知したる釜山署の樋口、野口土外山三巡査は專ら其方面を警戒中去る二日午後九時頃西町より漁夫體の男と束髮に束ねたる婦人が風呂敷包を抱きて—

▲同行せる樣子 が何となく怪しきより野々上刑事は尾行したるに南濱三丁目海岸に至り彼の女は左脇右臂して手早く風呂敷包を停泊中の漁船夫に手渡しせんとせしより女を捕へ風呂敷包を調べしにダイナマイト二箱顯はれしより有無を云はせず釜山署に連れ行き取調べしにこの婦人は釜山西町二丁目今井松次郎内縁の妻松井みつゑ(二三)と云ふ者にて該爆藥は釜山幸町二丁目下宿屋佐藤やす方土井輔藏(二八)より托せられ持ち行きし旨申立てしより取調べの端緒を得直に

▲關係者の撿擧 を行ひしに

(三六)岡山縣兒島郡琴浦村巨文島 竹村寅藏 同縣淺口郡伊羽村當時巨文島 □□□五郎 (三〇)廣島縣佐伯郡玖波村漁業 井上平吉(三七) 屋佐藤やす方土井輔藏(二八)福島縣相馬郡栗田村當時釜山南濱町一丁目瀬川榮松(四〇)高知縣安藝郡赤野村當時釜山西町二丁目今井松次郎内縁の妻松井みつゑ(三二)新潟縣中頸城郡新井町當時釜山西町二丁目油商和田與三(二八)を共謀し和田宅に於て爆藥二十本入二十餘函を發見したるより一同を引致し松井喜四郎を取調べしに最初は該爆藥は釜山龍頭山公園にて姓不詳の者より買ひ取りたりと言ひ張りしも遂に包み切れず該爆藥の出所は大正四年七月以來全羅南道巨文島沖に

▲沈沒せる汽船 巴丸及び讃岐號の解體作業に雇はれ居れる高塚縣人小川堅平なる者の重五郎より作業に使用する爆藥を一函時下七十圓のものを百十圓の割を以て松井が買取り釜山に持歸りたるは去月廿二日にて近隣の按摩馬守某方の路次内に隱匿し居たるも警察の捜索嚴重なるより和田の宅に移し牧の島附近にて漁夫に密賣し居りし旨自白したるが猶ほ此の外に犯罪のある見込にて嚴重取調中なり(釜山)

●大山公爵容態良好
見舞に赴きし松方侯と語る

大山公五日の容態は午前九時診察同十一時發表に依れば四日以來脈搏嘔吐少なく呼吸の不整も輕減し脈搏緊張の度を增す五日朝覺醒後は容態良好なりとあり猶午後四時五十分三浦博士は鶴田軍醫總監と共に診斷を爲し七時過立歸りたるが之より先き松方侯は自動車を驅りて參邸し特に病室に通され公の食事中(約十五分間)會談を交へ七時五十分辭去せるが其の後の容態は別に變化なき模樣なり(東京特電)

●小學校訓導 校長を刺さんとして果さず

呉東本通小學校訓導金尾又男(二五)は梅園校長を短刀にて殺害せんとして果さず原因は又男が不品行にて轉校を命ぜられしを恨みてなり(大阪特電)

●黄金刀
西鮮に發掘せる

奥野工學博士の談の三

古墳の中に埋葬してある棺は何れも厚板を以て組立て上に覆せ蓋がしてある棺の内外には漆を塗つたものが多い中には外を黑漆で塗り内を朱漆で塗つたものもある

◇棺材は 多く石槨を用ひて居るが樟で作つた棺も決して少なくない今でも樟の匂ひが芬々と殘つて居る今回發掘調査した古墳の如きは何れも十尺以上二十尺も掘つてから納棺の場所に達する事が能きるが二百人乃至三百人の人夫を使用して一週間も掘つた

◇古墳も あつて其の古器物の採集難は實に言語に絶したものが有る發掘した古器物の内の重なるものは銅器、玉類、漆器、鏃、鑿、青銅壺、鼎、茶釜に似たる鐵器、鐵鎖付銅壺、鏡鑿、携鑿、白山爐、陶器、武器、馬具、金印、金屬製動物彫刻純金等であつて中には全く其の

◇使用の 途の不明な器具も少くない此の内で珍らしいものは鐵鑿携鑿等で何れも漢時代の化粧用具である、白山爐なども今日の支那に在つても非常に珍らしい物であつて今回發掘したものは爐の上に鳳凰が居つて其の上に鍍金の香爐が載つて居る今回は鏡をも多く發掘したが朝鮮あたりで從來見た普通の

◇白銅鏡 と異ひ其の裏面の龍虎鳳凰などの模樣も非常に精巧を極めて居つて高麗時代の鏡の裏模樣のやうな拙劣なるものでなく其の技術は實に優秀なるものである合金の方法が後代のものとは全く異つて單に鏡の裏の模樣の

◇精妙な ばかりでなく其の鏡面も又鋭く氣持の好い光を放つて居る此の合金の法は唐時代までは傳つたが其の後は全く傳つて居らぬ朝鮮では高麗の初期まで傳つて居つた模樣であるが開城あたりから發掘される鏡は何れも合金術彫金の技も非常に粗惡のものばかりである

◇武器は 刀、劍、戟、弩弓及び弩弓の矢數十本を發掘した猶純金製の刀の柄なども發見した馬具は轡の革紐を發掘した其の紐には漆で美しい模樣が描かれて居る銅で作つた態は机の足に成つて居つたが其の

◇製作は 甚だ巧妙を極めて居る石印は其の握る處が龜の首に成つて居る漢時代には多く銅印が用ゐられて居つて石印の發見されたのは珍しい事である石印の文字には「永壽康寧」と刻してある玉の製作品には青玉の蟬、琥珀の犬、硝子の羊其他の飾玉は非常に多く出た、更に技術の精妙と云ふ點に就て

◇驚嘆に 値するものは帶の金具にでも細みたものらしい純金の長さ四寸巾二寸の長方形中空のもので表面に純金で龍を七つ打出して其の間に青玉を嵌め純金の針金と純金の粒のやうの小粒とを巧みに彫刻の間に嵌めてあるが今日は如何なる

◇方法で 製作したものであるか知る事が能きぬ思ふに此の時代の技術がある部分に於て今日よりも更に進歩して居つた事が想像される此の他に銀の腕環、飾玉なども多く出た陶器は大低破損して終つて深山の破片の中から漸く

◇完全の ものを三つ四つ得たに過ぎない陶器は今日の物に比して粗惡である陶器類の中に大きな魚類の骨を發見したが之れは死者に供へたものであらう

●方廼亭氏は何故の投身ぞ

朝鮮人方廼亭(四五)連絡船高麗丸に貴重品を遺留して投身せるが同人は大阪北濱二丁目西尾辰三郎の店員にて郷里には多數の家族あり西尾方にても聞くに投身の理由なし偶然過失にて海中に墜落せしならんと(大阪特電)

讀者文藝 (一等には五十錢の書籍券を呈す)

▽物は付「厄介なものは」

○壺の提灯(一等) 京城南米倉町一七四 熊谷 惟外

▲取次ぎの電話 黃海津 長谷川潮月
▲旅行先へ頼まれ物 龍岩浦 花 心
▲保險の掛金 仁川 原野 信子
▲子供の多い家内 鎭山 迎 翁
▲泥醉者の介抱 龍山 多 鶴 郎
▲病人の居鉄 京城 八坂多美子
▲出戻りの女 京城 東 海
▲芝居で泣く兒 龍山 浣 法 師

●麻生參事收監
鐵道不正事件

彼の徳田濱田兩書記不正事件に關係せし西部鐵道管理局參事麻生榮三郎は京都監獄に收監されたり(大阪特電)

●發狂して放火

平北鐵山郡古城面月峯洞李資根(三二)は昨年長男病死以來世を悲觀して少しく精神に異狀を來し居りしが十一月二十五日鐵山市場に行き飮酒醉酊して歸宅後妻安姓女に暴行を加へんとしたるより安姓女は附近に逃げ出し其の留守中居宅前の米搗場なる藁小屋に放火して一棟(四十圓)を全燒し鐵山警察署に引致されたり

●大邱談合事件

石村勝入請負に際し談合したる大邱請負業者竹下八郎外六名に對する控訴言渡は五日午前十時大邱覆審法院にて控訴棄却さる旨判決言渡せり因に第一審判決は被告七名共懲役三月一年間刑の執行猶豫なり(大邱)

●臘八の接心を觀る
▽鼠を叱る聖侍 ▽修禪道場の夕

『エヽ君も知つとるちやらうが此師走の朔日から八日までは臘八の接心會というてな、わが禪門では宵から黎明まで徹夜して座禪するのぢや、ことに八日は大聖釋迦牟尼佛が印度の大雪山に於て難行苦行の末、曉の明星を望んで大悟徹底遊ばされた日であるんである、何うぢや川端の妙心寺まで參詣致さぬか……』と恐ろしい文句に某居士に案内されて五日の晩長沙洞の妙心寺に赴く

臨濟宗大本山出張所

の門札のかゝつた黑門をくゞつて點鐘を吊した本堂の入口に立つと『エかお前達、此の門を這入れば王侯も乞食も同じ待遇ぢや別にピク〳〵するとはないからずつと這入れ、併し此處は修禪道場といふての、みんな靜かに座禪する處ぢやから苟も騷にわたることがあつてはならん、それに此處は一種の武藝の道場に等しき所ぢやから假令打ち殺されても文句はない代りに都合によれば

瑞巖和尙の呼吸の根

をとめて呉れても差閊ないのぢや……』と居士は早速玄關に這入る、ついて道場に失敬しようとすると『ア、これ〳〵その下駄がいかんちやテそれは他の人と一緒によく揃へて置け禪宗では看脚下で足許を見ることが肝腎ぢや……』と至るところで脅かされる、と見れば本堂の四方には默々として座禪三昧に入つた居士達がツンともスンとも云はず座つてゐる、鴨居には鐵牛、直斐など〻記された名札から

參禪の各居士の名前

がズラリとかゝり其の中御本尊を後ろにして座つた直日は線香の煙の前に總指揮官の格で結架趺座し聖侍は頗る猛烈な權威を發揮して堂中のものを叱りつけて一座の整理をしてゐる、折から同行のスケッチ氏が別室に退き居士達の達磨顏に狐の尻毛をかいてフツと噴き出すと聖侍が『コリヤ!!』と大喝一聲した、叱られた二人が縮み上つて居ると圍爐裡のお爐さんはニヤリ〳〵しながら『あの聖司さんな鼠の聲がしても叱りなさいまつす、笑ひなさるなよ』といふた、折からカチ〳〵〳〵の拍子木がなつて休憩時間の解定となる(つゞく)

歳暮の景氣

■まあ〳〵 ■この調子で 『行つたら結構』

▼▲旅館は 年毎に繁昌

歳暮の旅館はみな相應に忙がしい、これを共進會騷ぎに忙殺された昨年に較べると左程ありがたいとも思はれぬが景氣は先づ惡い方でもなく良い方でも無いとのこと、由來

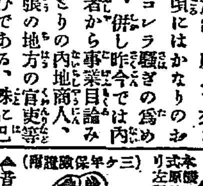
▼京城の旅館 は春の三四月頃から秋の九十月が最も繁忙である、これは一年中で最も時候のよき季節であるから從つて内地の觀光團視察客が多くなる爲めであらう、冬期は春秋二期に比較すればずつと客足が減るけれども併し霜月師走の年末ともなれば何れの旅館も賑ふて來る今年は陽春四五月頃にはかなりのお客があつたが秋はコレラ騷ぎの爲め皆目駄目であつた、併し昨今では内地あたりの鑛山業者から事業目論みの實業家及び注文とりの内地商人、總督府の會議出張の地方の官吏等でなか〳〵の賑はひである、殊に巴城館、天眞樓、京城旅館、浦尾等には

▼歐洲歸りの お客が多く天眞樓は以前から鑛業家の定宿となつて居るが何れもみな惡くはないとの京城はなしである、猶ほこれからの旅客が多くなる傾向があり朝鮮内の人々の旅行も頻繁となる樣子であるから京城の旅館は益々有望であるとのこと、兎に角此の歳暮は可もなく不可もなくして過ぎんとしてゐる

灯ともごろ

▲擊沈された永田丸の所有者永田三十郎氏は何故船籍を朝鮮に置くにしても仁川や釜山に置かずして海州に置いたかと言ふと▲船の關係者によくある例で方位を頗る氣にした結果易を見て貰つて海州に定めたのださうだが其船が擊沈されて見ると易もあまり當にならない▲新券の福助は此の社會の女には珍らしくお國訛りの抜けぬところがあつて廣島ガンス丸出しの言葉が却つて愛嬌になつてゐるが▲その訛りの中に『さら』といふのがあつてそれを口癖のやうにいふので或る時朋輩の惡戯者が福助と對話中に『さら』といふ言葉の出るのを待つて『ハイ皿』と言つて大きな皿を持ち出したさうな

●讀者課題及募集規程 ▲用紙は端書又は半紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名



●保險附大聲蓄音器大景品附大割引責任販賣

本機は撰選の直徑一尺五分高さ五寸五分喇叭口徑一尺四寸の七技構ニッケル精巧キンダー式原動調にて音律正確發聲頗る大也故に發賣は三ヶ年の責任保險證を附す今回五百臺限り左記大景品進呈す望の方は「ハガキ」にて申込次第賣價替附にて送る萬一不向の節は責任を以て無割引代品交換又は送金す

壹臺金八圓五十錢 運賃及荷造荷代共金二圓五十錢

景品 總盤音譜即ち「レコード」赤垣德利別れ、東家樂燕乃木將軍、浪花節奈良丸佐倉義民傳、東家樂燕乃木將軍 …… 十種及蓄針二百本進呈

(三ヶ年保險證附)

▲音譜練盤特製品參百回使用保險附兩面金六十五錢(定價表無代進呈) 近頃玩具的蓄音器を誇大に廣告し注文者へ送品を與ふる不德商店有之注意あれ

大阪東區上本町五丁目停留所南入 電南一二三八 振替大阪二五〇八二 發賣元 大阪蓄音器商會

特約店募集 地方特約店御希望の方は郵券四錢封入申込あれ詳細規定書送呈

陶器着荷廣告

各縣産地直取引

高等御旅館。料亭向。並に歳暮年始。御物進用品。建築材料品。肥前燒各種。信樂燒

○尺より八寸まで瓶掛色々
○遠隔の地よりの御注文は本月十五日迄の内御注文願上御差圖に隨ひ格好見膳ひ差上可申候
○代金は荷爲替付或は弊店振替口座にて御送金被下候得ば運送の便利を計ひ迅速發送可仕候

京城本町一丁目 陶榮商店 振替口座京城五貳番

小說貸本業者へ

講談物新小說大阪版東京版一切揃ふて居ります目錄は小說專門御用御安く致します(三錢郵券)照會は復往端書御間

大阪市三休橋筋久寶寺谷南入 樋口隆文館

鑛山用 測量製圖器械

博覽會眼鏡賞金牌品

玉屋商店

東京銀座三丁目 電話京橋 三〇五 三〇六 三〇七 振替東京 四四六八

金牌受領 髮を黑く長くつやを出し 本椿香油

日本一の栗羊羹 京城本町二丁目 龜屋

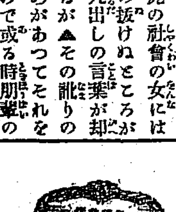
太物類各種足袋問屋 染手拭木綿並に足袋原料

山印大阪足袋一手販賣 明治足袋會社特約販賣

足袋並にカバー製造販賣

大阪市東區唐物町堺筋角 柿定商店

電話(東)一四七番 振替口座大阪二三七五番



醇良第一 白鶴

第貳回直段改正廣告

米價の昂騰及清酒品拂底の爲め酒價益々昂騰仕候に付不得止十二月一日より白鶴印酒外各印共大樽一樽に付更に金壹圓値上げ仕候に付不惡御諒察被成下不相變御愛顧之程奉希上候

大阪市東區横堀一丁目 發賣元 嘉納合名會社

●ラジユームを含んでる朝鮮の温泉を巡りて
なかなかよく利く＝今津技師談

朝鮮各地の温泉場視察中であつた中央試驗所技師今津明氏の談に日本内地では温泉と云ふのも頗る多く其數

◆實に一千以上に達して何れも相當に利用されて居る朝鮮は地質の關係上内地に比すれば其數極めて少なく今日温泉として世間に知れたるものも僅かに六十有餘に過ぎず此内先づ温泉場らしい設備のあるものと云へば五六箇所である、私は本年の春以來京城附近に在る藥水並に井戸水等に就てラジユームの含有量如何を試驗した處が相當多量に含有するものを發見したので更に本調査に一歩を進めて朝鮮内の温泉につきラジユームの含有程度の試驗を思立ち其第一著手として今回海雲臺、東萊、儒城、温陽、龍岡等の各温泉地に出張し調査の結果左の如き成績を得ることゝなつた——海雲臺温泉は東萊より二里十町の處にある海岸の温泉場であるが釜山港内の遠景絶佳殊に二見ケ岩の奇勝などもあつて今回の旅行中では一番景色のよい温泉場であつた温泉が海邊にあると云ふことは海水浴と同時に出來る便利がある、湯の性質は鹽類泉であつて

◆固形分を多量に含有せることは鮮内第一であらう固形分の澤山ある湯は湯ざめがせず胃腸病、子宮病等に特効あり從來は湯口も一箇所であつたが今回經營者の更迭と共に改良されたやうであるラジユームは十三マッへを含むで居る只多少交通不便なるは遺憾である東萊温泉は釜山より輕鐵にて一時間半山間の温泉地である此處は旅館も交通機關も共に便利であつて此點に於て鮮内第一であらう矢張り鹽類泉であるから胃腸病婦人病等に効く湯口は澤山あるが蓬萊館の中にあるものからは四、六マッへのラジユームが出る便利な交通機關を利用して連絡船から乘降した浴客が多い、儒城温泉は大田から馬車又は人車の便によつて二里半强の處にあるのであるが他に多くの温泉場が鹽類泉であるのに此湯の弱アルカリー性である固形分も湯量も少なく

◆冬季の入浴には適せないがラジユームは比較的多く二十五マッへを含有して居る、温陽温泉は天安から三里半の處にあつて自動車の便はあるが一般設備不完全なため浴客の數も少ないラジユームは四マッへあるが今後相當の設備をすれば京城に近い丈發達するであらうと思ふ龍岡温泉は鎮南浦から七里の奥にある湯であつて自動車も人力車もあるが非常に不便なために温泉地としての發達は望まれなかつた鹽類泉であつて固形分と湯量も多いけれどもラジユームは少い、右は今度實地に臨んで試驗した結果であつて引續き金剛山の温泉なども調べて見たいと思つて居る併し温泉は如何に効能の著大なものであつても交通の不便なと云ふことは折角の良泉も人に識られずして濟むのであるから必ず都會に接近して立派なる温泉があれば自然に繁昌することになる。

◉斯うして皮膚を鍛へよ
冷水摩擦後の手拭運動 國民の美風として奬勵

皮膚を鍛錬すれば、感冒にかゝる事が少いので、從つて病氣にも罹されぬやうになる、皮膚を鍛へて强壯ならしむるのは、冷水摩擦に若くものはないので、近頃健康を重んずる人々の間には、毎朝冷水摩擦を試むるものが大分多くなつて來た、何うか

▣此習慣を次第に國民の美風として一般の人が實行するやうにしたい、處で此冷水摩擦を行ふ際に最後に乾布で摩擦し畢つたら肌を入れざる前に持つて居る手拭とかタオルをもつて胸廓運動を行つて貰ひたい即ち其手拭を利用する運動法を「手拭體操」と呼ばれてゐる此方法は左右の兩手にて手拭の兩端を固く握りそして

▣其手拭を左右に緊張する、其時胸部を前へ突出し兩手を頭上に伸し、手拭を左右に緊張するが之れは用意の姿勢になるので、其れから兩手を上下左右に動かすこと約十五回乃至二十回に及ぶのである、ナニセヨ滿身の力を籠めてすることであるから身體が十分に温くなつて冷水摩擦後直に施行すると極めて

▣能い運動になる、世間には冷水摩擦の强壯法を實行される人が多くなつたから、尚一層其れを有効ならしめ健康を増進せしむる一方法として此の手拭體操を奬勵するのである、冷水摩擦實行家は是非共試みるやうにされたい

◆炭は何んなのがよいか

◇炭はどんなのが質がよいかといふと、先づ一見して白粉の表面に附著してゐるのがよい、これは炭竈から取出して火を消す時に灰に埋めて消すので中には水を掛けて消すのがある、水を掛けると眞黑くなつて白い粉が多く附かないばかりか「濕り」が全く乾き切らぬ中に荷造りする事があると、火の附きが惡くて貧けに立消がすることになる、然し家庭によつては經濟だとあつて歡迎するものがあるが、その代り乾かして一俵五貫目なのが量が同じで六貫目だといつて代價が高いから經濟にならない

◇第二に炭を手に取り上げて見た眼より輕いのがよい第三に炭の塊を二ツ三ツ輕く叩き合せて見ろ、質の善いのならカン〳〵と冴ねた音が出る、この音は醫者の打診で病人を診察するのと同じく、商賣人の第一の鑑別法だが、素人でもすぐ判る、第三には中からポツキリ二つに折つて舌で、その切口を一寸舐めて見る、すると善いのなら唾液で忽ち眞白くなる、惡いのはあんまり白くならない即ち水分の多い證據である

◇それから炭は太いのは老木を燒いたので質が疎で持ちが短い、細い小さいのは大抵若木を燒いたのだから、質が緻密で長持ちがする、尤もこんな大きい炭は炭屋でも安い方だから間違ひはないが、同じ値段の物を區別する時は以上の心得があれば決して各家庭で誤魔化される憂ひはない。

◉夜間警戒始まる

京城本町警察署にては市中年末の警戒の爲め五日夜より毎夜非常巡査をして私服密偵をなさしめ常に盗難被害の夥しき各町を巡邏し居れるが五日夜初陣に早速窃盗現行犯人二名を取押へたりと

◉給仕團の見學

京城府廳に於ては雇て小使給仕の將來を慮り時間後簿記算術習字其他必要の學科を教授し居るは既報の通りなるが今般職員の援助を得て遊覽懇親の給仕八名小使三名は本月二日實地見學の爲め大田へ旅行し同地郡廳員の斡旋により電氣會社砂糖所瀬南日報社其の他を見學し三日汽車にて鳥致院を經て歸廳したるが其の結果非常に得る所ありし由にて近く其の日記を提出する筈なり

●神社とお寺と教會

○妙心寺接心結了 妙心寺にては十二月一日より臘八紀念大接心を修行し來りたるが七日は徹宵して八日曉に及び午前五時三十分に總參あり六時半よりは成道會を修行し終りて修行者一同の粥座茶禮ある由

○開教院（本町三）七日午後二時より佛名會法要同七時より説教通夜あり

◇蕪菁の風呂吹 蕪菁を軟かに茹で黒胡麻を煎つて摺り味噌と摺り合はせ砂糖少々を加へ煮出し汁と酒とでドロドロになし裏漉して弱火で煮詰めたのをかけて供す

商況

公債直取引（東京特電）六日出値段（前日との比較）
五分利 九五、八〇
特別五分 …
四分利 八三、三〇

深川在米特電

東京期米特電 六日前場 二月限

大阪三品特電

大阪期米特電 六日前場 當限寄付 中限寄付 先限寄付 一七、三八 一七、二六 一八、二一 止め

下關期米特電 六日前場 時勢買殺到

雜報

◉亞鉛細線益昂騰

亞鉛細線は最近益々細番物の價格昂騰を促がし殆ど天井知らずの有樣なるが一說によれば近來米國には英國よりの鐵材注文増大して各製造會社に於ては有利なる製品を選びて之れに力を傾注せんとするの傾きありて本品類の如き他の有利品の製造に壓されて製造の著しく減退せしが如し、エス物の如きは最近に至り二十二番以

上の線類全部の製造

中止を爲したる趣にて此樣細線の需要も全く之れが供給の途を絶つべしと因となり前途供給の無きに相場を觀測より手持筋は今日に於ても如くあるものゝ如く上げんとする二十二番線にて五十圓處を唱へられ太番との値鞘は異例の開きを示し殊に二十五番に至つては目下大阪への輸入今や國内外

眞鍮線と殆ど同樣の格を保つに至れり今後多少の輸入ありとするも新期約定は不可能の事にもあり到底相場の下落は見込み難きかと

◉亞鉛板亂調

亞鉛板は前報の如くなるが其後の大阪情報によれば益々高模樣にて現在の同市中相場は甚だしき亂調を極め居れるもの、如く

高値は平板二圓十五錢

より安きは二圓處なりといへるが當業者も何れが眞の相場なるかに付ては大に氣迷ひ居れる模樣なるが昨今の市況は先もすれば上退に蹤びき易き形勢なる丈既に先或は前記の高値が一般の相場となるや測り難く就中今回の躍進は大阪の安値を標準とせしものなれば高一大阪の高値相場を標準とする

浪板二十錢方を引上げざれば均衡を得ず今後果して斯かる高相場を實現するや否やは疑問なるも大阪現在の情勢斯くの如くなれば當業者は兎も角强硬の態度を取り居れり從つて今回の相場の騰進に淵れし

厚物浪平板は昨午後以來約七八分方の騰貴を見るに至れり

●鐵板薄物强硬

鐵板薄物は米國に於ては今や各方面よりの注文を以つて充たされ製造能力を超過するの一般なる事情にして

新期注文に對しては拒絶しつゝある模樣にて本品製品は輸出中にあるを以て本品類は現下の高値を以て少くも當分下値見難き模樣かと

●糯は先安乎

糯は各地を通じ農家の持品少なからざる模樣なるが農家は比較的上値を持越せる雜穀類を前に賣急ぎ糯の如き米價向上の機運に向ひ下落の恐れ少なしとし各自今日に至り賣出す者多からず從つて例年既に相當出市を見るべき地方も未だ出廻りらしき出廻りを見ず爲めに相場も前年より遙かに高模樣を呈し居れり一方精米所等買方側も需要間際迄は買急がざる振合にて相場は未だ確たる見當立たずと雖も小賣値としては昨今内地搗後一等糯白二十三四圓朝鮮上物二十二圓五十錢乃至二十一圓を唱へられ

前年に比し一圓乃至一圓五十錢高なるは今後時日の切迫に連れ一時に殺到するとしても相場も又多少の反落あらんかともいふ

◉昆布需要期迫る

昆布類は新物出廻を高値として漸次低落の歩調を辿り中にも出し昆布の如きは値下りの程度少なからず輸出向に至つては支那方面の好況により尻安の裡にも底固き處あり餅人向として移入せられし宗谷とても約四圓方の十二圓以上に比較せば約四圓方の下落なるも現在相場八圓は前年より一二圓の高値を維持されつゝあり昨今追々需要期に近づき來りしが荷は初期移入の賣殘り品位にて新期入品は至つて少なしといへば今後の賣行き如何によりては多少變動を見るべし

㊐ 仁川米豆取引所仲買人 まるにち 仲買店 電話 二八二番 二八三番

◉鹽干魚類不引立

鮮人向鹽干魚類は一段落後にて此處賣行き不引立にて各種の入荷も沸々に過ぎず相場は北鮮餅大形物三十圓生明太二十七圓處にして内地産としては松前鯣上物二十八圓鯣物十七八圓鹽鯖十二メ入五圓七八十錢處なり

京城正米

精米口は續いて安氣拂へなるも概高と期米高は賣人の履を强め附値安には手放さゞるを以つて市況は餘儀なく持合の姿にあるが如し

南大門の廻穀

烏山玄米	二三五叺	成歡籾	一五九叺
烏山玄米	一八〇叺	定州糯	五六叺
平澤玄米	一三五叺	平澤玄米	六七叺
平澤玄米	一三五叺	平澤白米	三九叺
平安白米	一〇八叺	烏山籾	六五叺
平澤玄米	一三五叺	烏山玄米	五五叺
鳥致院緑豆	二八叺	烏山小豆	二〇叺
鳥致院胡麻	二二〇叺	水原白米	二〇叺
烏山玄米	二〇叺	宜川胡麻	三四叺
烏山白米	二〇四叺	一山白米	三一叺
安養籾	二七叺	水原籾	二〇五叺
一山白米	六六叺	水原白米	四〇叺
金村白米	一十叺	水原荏子	五〇叺
水原白米	一一八叺	平壤胡麻	三六叺
礪川小豆	五二叺	水原大豆	三七叺
平澤玄米	九二叺	平澤籾	一四六叺
平澤白米	五七叺	一山籾	一四六叺
平澤白米	五七叺	一山籾	一七六叺
金義籾	二五叺	金義玄米	三五叺
仁川白米	八一叺	汶山白米	二五叺
仁川胡麻	一〇〇袋	仁川米	六〇叺
仁川胡麻	一〇三叺	黄州胡麻	二四叺

田中 一番安値買の現物信用取引 一割次第御注文願候 電話 二六二八番 一五二二番

仁川現物市場

▲籾 入津約三千餘俵 氣配は變らず强保合
▲正米 入津五、六百叺 氣配は依然强人氣を唱へ居れり
▲大豆 入津千餘叺 氣配弱保合

釜山穀物市場 五日

△正米（變らず）□荷品は依然拂底にして賣り物乏しからずされども米主側は本邦正米の好勢に連れ强氣だ强よくして附値に應せず買人は本邦よりの買注文鐵々あたども何樣輸送便甚惑しからざる事とて只船腹の都合ある分のみの買入なれども商人に於て安く賣らざる商肰なれば氣配は依然保合にして取引高も多數さなれり
△大豆 船便の都合なき事とて汽船の買人は見送りの肰態にて只帆船

仁川期米

▲六日前場 天候晴 前寄
大阪天候晴天前寄 十八圓十一錢と昨止より二錢安の入電

丰原潮商店

大阪堂島米穀取引所仲買人 多少に不拘御注文願上候 電話 五三三 一三〇 二〇九 八二

節十二錢の移 節十三圓〇〇錢より十二錢と … 押し

沸騰五錢と … 六節〇四錢と安移り … 更に新高値に …

市場零聞

▲又復新高値

… 押しを一變して大阪の落外小甘きも入電に十三圓十一錢と寄付へ一〇九錢まで押したるも一面買人續出し …

▲前場の手振

方へ六千餘石 … 小變動 …

三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話三三二 …

▲⑷能く買ふ

前場同店より賣りたる玉數六千餘石に上りたりとの事

▲㊦能く買ふ

前場同店より賣りたる玉數五千餘石に上りたりとの事

▲全能く買ふ

前場同店より買ひたる玉數四千餘石に上りたりとの事

▲仝の大商内

前場同店より賣りたる玉數六千餘石に上りたりとの事にて注目を惹いたり

▲中限は强硬

中限は今前の……

▲向と利喰多

……軟派の賣……

▲强硬の成行

▲依然强硬

▲又復新高値

▲遂に運賃及

仁川米豆取引所

六日の一月限

	前	場
寄付	十三圓十一錢	
高値	十三圓十四錢	
安値	十三圓〇九錢	
止め	十三圓〇九錢	
出來	三萬二千七百石	

平均値段

一節	十三圓十一錢
二節	十三圓十六錢
三節	十三圓十三錢
四節	十三圓十四錢
五節	十三圓十四錢

賣買取組高

		比較
十二月限	七百石	七高
一月限	六萬千四百石	一高
二月限	五萬五千五百石	一高
五日後場		
前日と		五商

小賣白米

現金賣 一等白米 十六、四 次白 十五錢五厘

▲大下鞘を叩

▲一反撥

▲大阪は鞘寄

▲運賃と船腹

▲運賃は從前の通

▲臨時船は契約

▲隨時廻航

門兵阪を九十五圓 東京横濱名古屋四日市を百五十圓

▲船腹協定成立し尼崎雨

▲廻船社と協定

大五仲買店

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電話三〇九番長九一二番

▲㊐能く賣る

▲㊃能く賣る

▲邑能く賣る

▲今續て賣る

商業登記公告

株式會社漢湖農工銀行鐵原支店登記
大正五年拾壹月貳拾日江原道春川郡府内面大和町ニ移轉ス
內面安仙堂所在ノ支店ヲ江原道春川郡府内面大坂里ニ移轉シタリ
右大正五年拾貳月壹日登記
京城地方法院鐵原支廳

赤門印 人參規那鐵葡萄酒
貧血、衰弱、病後、婦人病等に最適の飲料
是非御召しあがれ
發賣元 小西商店釜山倉庫
到る處有力なる藥店食料品店にあり

吸入瓦斯發動機
英國ラストン、プロクター會社製
一、五十馬力 一、六十馬力
一、七十馬力 各一臺
一十時セントヒユーガルポンプ（鑄鐵管附）
外輪山用クラッシャ及石油發動機
五馬力より十馬力迄參臺あり
右安價に賣却致し度候間御希望の方は左記へ御照會被下度候
京城南米倉町八十一番地
諸機械專賣所 安達商會
（電話一九一七番）

朝米 大阪堂島米穀取引所仲買人 善税商店 報告大阪 …

質
多年御信用厚き弊店今般市區改正に付改築致し一層堅固なる土藏を設け勉强安全確實に御預り申上候
京城本町三丁目三十番地
田村質店
電話一八四番
本町三丁目通りより新設大道路に入りて北へ約廿間西側小路

健康の鍵は
淺田飴

たんせき一切よくきくにはし
本舗 東京 大阪 堀内

板硝子各種 英國製壁紙 入荷
釜山本町 ㊤ 村上商店 電話五番

當竹 荷入
釜山港 島末 材木店

內外雜貨卸問屋
㊦
近江屋支店
釜山本町二丁目 電話八二〇番

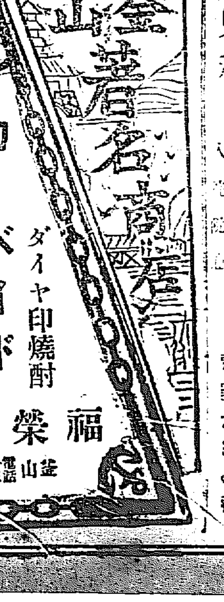
洋酒罐詰
卸問屋 紙 茶 石油 雑貨
釜山辨天町
ビ㋪ワコ屋
電話 七〇五 振替 一五六一〇番
（月刊物價表發行）

雜貨卸商
釜山大廳町壹丁目
明治屋本店
御取引の誠實 迅速 確實 利潤
明治屋商標登録

味の素 朝鮮特約店
洋酒罐詰商
あづまや商店
釜山辨天町

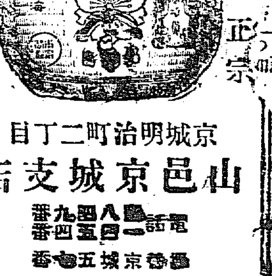
月刊商報發行送呈
釜山本町三
近藤商店
電話八六七番 振替三五八

朝鮮雜貨 釜鍋金物 卸問屋



釜山名所
ダイヤ印燒酎
カーバイド
アルコール
福榮商會
釜山 電話 三三二 三九番

內科 小兒科
京城日出小學校前
多々見醫院
電話 九四〇番

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗

サクラ正宗
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話 八四二 一四一 九九番

汽車時刻

[illegible]

宮本武藏

第二百二十七席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

長岡の城内に暫く逗留して曉雲二天は長岡外記に別れを告げて當所を出立いたし、是より信州路へ參つて善光寺へ參詣をいたさうと道を急いで飯山といふ處まで參りましたが、二天が足を腫して何分歩けませんから茲に宿を求め種々手當をいたしたが、中々急に癒りません。二天は曉雲に向ひ 二『此分では一兩日は出立が出來ません、恐入りましたが一足お出を願ひたい、少しも快くなりますれば直にお跡より參りますから』 曉『それでは俺は先へ參つて待つて居やう、善光寺の旅籠屋へ泊つて表へ笠を出して置くから跡から參つて其の目標のある旅籠屋へ來るやうに』と約束をして曉雲は出立をいたしましたが、二天は足の療治をして大きに快しいやうであるから是亦一日遅れて當所を出立いたしました。越後信濃の國境まで參つた處道を踏迷ひ、日は暮かゝり心急くまゝ愈々道が違つてしまつた、行けば段々山又山、向ふを見るとチラ〳〵燈火が見ゆるから其處へ來て見ると一軒の茅屋、二天は仕方がない今宵は此の家を頼んで泊て貰はうと思ひ 二『鳥渡頼む』と云ふと戸を排けて一人の老爺が其處へ出で 老『何だね』 二『手前は旅の者であるが足を負傷歩行難儀、殊には道不案内の者でかゝる處へ迷つて參つたが、何うか今晩一夜の宿を頼みたい』 老『あゝ然うかね、それは困りたさるだらう、構ふ譯には叶かねわがそれで宜ければ泊んなさい』 二『此儘で臥床は宜しいから』 老『此方へ入んなさい』 二天はそれへ上つて參り爐の縁に坐りますると、血が流れて居るから 二『老爺、此處に血が流れて居るが何うしたので』 老『あゝそれかね、俺が家は山獵師であるが先刻若い者が小猪を射て持つて來たやうであつたがその血だらう』 二『イヤ獸物の血ではない、是は人間の血だ』 老『人間の血が流れて居る譯は無い獸物の血だと云つたらそれで宜いぢやアねわか』と云つて居る途端に奥の方で女の泣聲がする 二『奥に女の泣聲が聞ゆるが何うしたのだ』と云ふと突如老爺は山刀を引抜いて 老『エー默つて死つてしまへ』と斬付ける、二天はヒラリ身を交はして利腕を捉へ刀をそれへ打落して捻伏し、高手小手に縛めて向ふの柱へ縛り付け、奥へ飛込み納戸の戸を開いて見ると年若き女が後手に縛られ中に入つて居た、其の傍に二十四五にもならうかと云ふ若い男の死骸、二天は驚いたが其の女を引出し縛めを解いて 二『コレ〳〵女其方は何れの者で何として此處に居つたのである』と尋ねた時に彼の女は涙を拭つて顔を上げ 女『妾は信州松代眞田大内記家來伊東源左衛門の娘みねと申します者、此處に死して居りますは兄の源之丞』 二『然て是には理由がありさうなこと』 み『左樣にございます、父源左衛門は無邊流の槍術指南をいたして居りました處、朋友の讒言によつて主家を暇となり、浪々中死去いたし妾は兄源之丞と共に越後新發田に少しの知己がございまして、其の方へ立退て居りました處、源左衛門に罪無きことが相判り元高にて歸參を申し付るといふことを新發田へ申し越しましたから、乃で兄源之丞と同道いたして是まで參りました處源之丞が俄の病氣當家の主人が親切にも介抱して兎も角俺の家に參れと此の家に參つた處、親切なる者と思ひしは大きな違ひ、老爺と今しがたまで居りました五郎藏といふ者と兩人して兄源之丞を殺し、妾を縛めて納戸の内へ打込み、近邊の遊女屋へ賣うと云ふので、其の五郎藏といふ者は出て行きました、處へ貴下がお出下されたので、何うぞ兄の敵を討せて下さいまし』と一伍一什を物語る。

外科 花柳病科
内科 皮膚科
院長 正六位勲四等 島崎龍一
京城旭町一丁目(本通りより左に入る)
手術室新設 普通隔離病室
島崎病院 電話二七三六番

外科一般 皮膚科 花柳病科 泌尿器科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會舞
安部醫院 電話西一九〇番

十二月八日九星
舊十一月十四日己卯
本命七赤 西平赤口

▲七赤 逆押論の事ある日新事見合す方は吉 剣西▲八白 利徳多き日轉居旅行商入學名弘求職金件婚姻海外取引業務 萬吉▲九紫 不得要領の事有る日新事手控え事は吉 保證調印等を禁ず ▲一白 美くしき日轉居出商入學名弘求職建前婚姻藝術金融等 萬吉▲二黒 大願成就の日轉居入門求職名弘建築着手金談勞働萬吉▲三碧 怪しき事有る日新事手控當の事は吉 婦人と交渉を慎む▲四緑 不思議の事有る日新事手控え吉 買物他人に用心の事▲五黄 協力勞進の日萬進て利有 女子の婚約を結ぶに尤も妙也待人來る▲六白 慢なる日轉居入學金件求職家作造婚姻 女子の物の敎授を始る等吉

演藝案内

御成座 御成町 電話一九一

第四十師團勇士の血涙『大和櫻』『全十一場』 眠おくめ花圓(秀夫の妻)お粂(岩見)稲田義則(長谷)世良田圓(同部)陸軍步兵大尉江本始(川上)舞子豆八(吉野)椎木子爵の妻(静江)津田(巴)陸軍步兵中尉高松則重(安田)支那人阿數(山本)外人ガツト(中里)レツト藤原一番生赤木田(小森)陸軍步兵(明石)仲居(菊川)藤島剛三(小松平)馬丁カ三(明石)陸軍步兵少佐楠本義正(日野)陸軍騎兵曹長川上(鷺田秀夫)

櫻井町 大正館 電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
十二月七日より大提供新寫眞 實寫英泉大學運動會行幸光景 ○喜劇 西洋二人息子 滑稽知らぬ顔 ▲立花貞二郎關根達發合同出演 ▲新派悲劇『命』全三巻、母の虚榮と不貞とは及んで娘に迄禍となり醜工藤義奴の義侠は悪徳の奸計を打破し不貞女の悲惨なる末路正邪の情味津々たるものあり ▲伊國エクリプス會社大傑作 ▲探偵大活劇『廢洞』全三巻六千呎、貧窮迫りて娘はピヤニスト…父は悪漢に組す日ならずして名探偵に捕縛せられ娘は共犯として… [illegible]

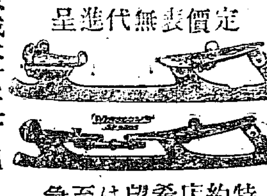
本町 浪花館 電話二六〇
新時代の浪花節 吉川今勝一行來る
▲毎夜六時開演 讀物續き△五郎正宗(吉川都)△征韓論(吉川鐵舟)△いかるが千治△浪花錦幷△慶安太平記(吉川容室)△法紅の涙、美人殺(長講二席吉川今勝)

黄金館 電話一八五二(階上)二六三七(階下)
天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 Mカシー商會朝鮮一手代理店
十二月九日より特別大寫眞 ○伊太利グレーツの景 ○滑稽サインの夢 ○階上ツたり下ツたり ○丁抹メンスク會社傑作『軍事大活劇密書』(全六卷) 數箇月に亘りブラツクボツクスが上場されて人氣を呼ぶ大歡迎の下に終結を告げた當館は茲に細心精選其上場フヰルムの選定に意を致して居る本篇を愈々上場す、内容は愈々以て…生?死?實に近來稀に見る一發刹那…大フヰルム ▲新派喜劇『髭一ツ』破天荒の試み…抱腹…絶倒 配役 イロハ頭(東豫勇)南郷公利(書生山田)丸山新街(防城正)藤田龍力(勇の妹光子)吉澤初枝(書生木田)櫻征風(令嬢文子)下米子(中大金太)宮城美晴(東條廣文)赤谷十太郎(書生元田)笠林之助 外數名

中風病 ちうき
余が家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したる遺傳系統にして其苦き實驗より得たる良藥を返信用切手封入照會の方に詳報し一千人を限り名士題字の療養書を無代進呈す
▲兵庫縣明石鍛冶屋町 加古忠兵衛

目まい 立くらみ 腹いた 急病、流行病の特効藥
登録商標
萬病感應丸
本舗 大阪 正野法橋玄三 江州
販賣店は全國有名各藥店

新荷著廣告
米國製最新式
スケート
定價表無代進呈
特約店希望は至急申込あれ
京城本町二丁目 篠崎運動具店
電話一三〇三番 振替四六八番



流經新藥レスノリ。
月經
閉止經過四五ケ月以内ニ應用ノ目的ヲ達ス 其他藥ニ優越ス ●藥價一瓶一圓 送費ナルコ地十二錢海外卅錢 切手一割增 說明書三錢切手添中越進呈
振替大阪六三七〇番
大阪北區分根崎上一丁目三六地 發行所 常盤藥院

結核專門 古賀病院

りん病
淋渇で困る方 多年の慢性も治癒す 自宅にて人知れず安全秘密に良藥わり只一劑を試よ 切手三錢送れ 其良藥と自宅療法の詳細を教ゆ
名古屋市南かじや町 武藤亀吉

急性慢性胃病 便秘 治癒 重き胃腸も能く効く論より證據
本劑は多年實驗の良劑故永年困難の胃腸も治癒せしむ…▲又處暑症、座業の人、腦病家、精神過勞の人、大酒家等、常に服せば胃腸を健全にし、食物の消化を助け、逆上を引下げ、つうじを適度にし、身体を强壯にし、且卒中中風を豫防す。
健胃 快通
胃病を快治 つうじをよくす
大効丸
本舗 名古屋 小林盛大堂
直ぐ試み給ゑ
(一個 … 錢) 本舗 名古屋市廣小路通 小林盛大堂 大阪平野町 小林大藥房 東京 藤井… 全國藥店にあり

科學的純良なる

齒磨 ハミガキ
今や紳士淑女の家庭に盛んに愛用せらる

本邦及英米國政府 專賣特許
滋養强壯料 肝油ドロップス

(現品縮寫圖)

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. 120 in a bottle ... ... ¥ 1.20
MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. 100 drops in a bottle ... ... ¥ 1.20

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.
Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are Supplement with albumen, and a further addition of the effective element of iron, lime and phosphorus quinine.

○肝油ドロップス
河合龜太郎氏創製
▲甚しき臭味を忍びて、肝油を飲用すべき時代は去れり▲
▲咀嚼して美味無臭、容易に定量の肝油を食用し得べき▲

肝油ドロップス 肝油含量一顆一瓦にして麥芽糖及び可溶性含窒素物を以て成る滋養强壯料なり
複方肝油ドロップス 肝油の含量を半減して、有機鐵、有機燐及び石灰、規那等を含有せしむ

肝油が一般の虚弱者、羸痩者、結核性素質者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し治療上缺くべからざる滋養劑として、内科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓効を奏するは、醫學上の定論なり、然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に、其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀洋菓ドロップスに倣ひて、麥芽糖及び可溶性の含窒素物を基礎とし、一顆毎に精製純良の肝油一瓦宛を正確に含有し、乳化完全にして、分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食用し得べき『肝油ドロップス』を創製す、本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に面倒なる手數、携帶の不便、變敗の迅速なる等の缺點なく、殆んど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得ると、酷暑の候と雖も、冬季と異る事なく、消化吸收の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする所なり

肝油含量一顆一グラム	一日二回乃至三回服用
五歳以下	一回一顆又は二顆
十歳以下	一回二顆乃至三顆
十五歳以下	一回三顆又は四顆
大人	一回六顆乃至八顆又は十五顆

用法 普通菓子の如く食すべし、又は小刀を以て細片に切り冷水或は微温湯にて嚥下にするも妨げなし

五十顆入 一圓七十錢
百二十顆入 定價金一圓廿錢
複方百顆入 定價金一圓廿五錢

如斯人は滋養料◎肝油ドロップスを用ふべし
一、顔の色が蒼白くて艶無き人
一、皮膚の紋理が惡くザラ〳〵してゐる所謂あれ性の人
一、身體一般に貧血してゐる人
一、是といふ病氣はなくても何と無く弱く感冒に罹り易い人
一、筋肉の目立て瘦せてゐる人
一、手足が冷て凝られぬといふやうな纎弱い人
一、色が蒼くて肉瘦せ、而して活潑ならぬ所謂腺病的の小兒
一、頸が細長く、頰が瘦け、咳嗽や痰の人並より多く出る所謂結核素質のある人
一、筋肉を太らせ、無病壯健に元氣よく活動せんとする人
一、身體一般に脂肪氣の少き人
一、顔や手先きを滑こくし度人
一、産前産後の滋養を計らうとする人

如斯人は滋養料◎復方肝油ドロップスを用ふべし
一、骨の故障即ち佝僂病骨軟化其の他種々の骨病ある人
一、營養不良から來れる眼病、例へば夜盲症や網膜貧血に罹れる人
一、腺病(瘰癧)に罹れる小兒
一、發育不全の小兒
一、貧血症になつてゐる人
一、肺結核其他結核的の病に罹つてゐる人
一、腦神經衰弱、ヒポコンデリー、ヒステリーなどの神經病に惱まされてゐる人
一、陰萎、遺精などの生殖器神經衰弱に罹れる人
一、病後の衰弱を速く回復したい人
一、心臟病に罹れる人
一、右の外種々の病に罹つてゐる人の滋養物として理想の良食物である

▲賣捌=全國到る處の藥舗。洋酒食料品店。化粧品店。小間物店▼

本舗
ミツワ石鹼
ミツワ家庭藥
規那鐵葡萄酒
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元 ○ 登錄商號
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹼、香粧品、小間物問屋
丸見屋商店
電信略號○ミヤ……振替口座東京七一〇番
營業部電話特長浪花三〇、四四八、四四九、四五〇番

京城日報　第三版
七日朝刊　(夕刊と合せて八頁)
寄付　一六、九九六　高値　一七、三三〇　中限　一八、〇九　先限

入十四錢大阪[illegible]正十八圓〇五錢落寄十五錢と高入電にて當地寄十三圓六十錢中十三圓十四錢と新高値に寄付更に二十九錢と沸騰し五錢と押して引先十三圓二十錢六錢高の新[illegible]寄附たるが賣物多く十六錢と押したる[illegible]買物多く祈柄大阪三節十六錢と[illegible]十九圓[illegible]

▲遂に爆發す　經濟問題の解決に[illegible]

[illegible]

▲後場の手振　[illegible]

▲現物界　[illegible]

後場　寄付　十三圓二十九錢　高値　十三圓三十九錢　安値　十三圓三十六錢　出來高　六萬二千二百五十石
十二月限　五萬六千七百石　一月限　六萬九千五百石

東京より

〇中央と地方とに論なく、政局は依然膠着狀態に在りて些の緊張を見ず、僅かに石川縣に再選擧の事あり、朝野兩黨をして此政戰に力瘤を入れしむるの氣勢を呈したるも一時的現象に止まり、横山氏の候補斷念と共に再び死灰の如く冷かになれり。

〇此時に於て憲政會は、寺内首相の出身地山口縣を手始めに、九州一圓を遊說し地方の勢力を中央に援用して、政局緊張の資と爲さんことを目論見つゝあるも、遊說の根本方針が現内閣成立の形式を非認し、過去の政史を繰返す耳となる論據にして、國民の期待する戰後の對世界策及び當面の大問題たる對支政策を重視せざるを以て、努力の割合に人氣を集中する能はざるは爭ふ可からざる事實也。

〇政友會　亦憲政會の新設を攻擊するに止まり、自己の遊說に何等の新機軸を見出さざる爲め、地方人士は全く兩政黨の遊說に飽きつゝ、有らずもがなの感少なからざるは全國を通じたる趨勢と見る、斯く優柔なる態度を以て、政黨は第三十八議會に臨み果して何事を成さんとする乎。

〇憲政會内強硬論者皆無に非ず、假令開會劈頭不信任案を寺内首相に突付けて、猶ほ克く絕對多數を維持し得べしと信ずる者幾人かある若し此策戰を以て幹部を壓迫し、一本調子を以て押進むと假定するも、其結果は兩者相傷き蚌の爭に終るの虞なしとせず、此危險を無視して何人か克く蠻勇を揮ふ者あらん。

〇翻つて憲政會が、政策問題を提げて部分的に不信任を表明するとせば丹は陣形に於て旣に政府に一著を輸するに似たり、而も現下の政情は憲政會如何に努力するも、政權俄かに加藤子爵の手中に落ち來らざるは、聊か政界の機微に通ずる者の齊しく首肯する所也。

〇斯の狀勢を以て推せば、第三十九議會中には、憲政會對政府の間に多少の小鬪合はあるべし、然れども双方解散を賭してまで力爭する意氣なきや明にして、早計の斷定は之を保しむべきも多少の悲觀を要せざるに似たり(十二月二日)

鏡城訪問記(四)

西海生

□水間警務部長

▲水間警務部長とは淸會線の試乘列車中でも會ひ、淸津の旅館でも話し、然し双方忙しかつたり、傍人が居たりして、緩々其の高見拜聽の機はなかつたのである、記者の鏡城に着いた日、部長は國境方面を視察してゐた松木陸軍省視察員の一行任を終り歸東するに付、何か打合せの爲め、淸津に旅行、恰度其の翌日の夜歸任と聞いたから官舍に押し掛けた▲警務部長官舍は鏡城の鮮人町をアチコチ拔けて其の出外れの岩山の麓にあつた、別に可なり離れて二軒の官舍は建つてゐるが、其の一軒には何人も住つてゐないらしい、實に寂寥を極めた場所である、そこに中佐は令孃を亡つて新愁未だ盡きざる夫人及び家族を鄕里に歸し、自分は一人女中と馬丁對手に廣い官舍に禪的生活をしてゐる、▲菊花の芳れるオンドロの中に熊の皮が幾枚も敷かれてゐた、相對して約二時間許り色んな方面の話しをした、中佐は日露の戰時大尉として武昌に軍事顧問たり幾回か歸還出征を願つたが遂に許されなかつた、それは氏等二三の顧問が去れば、武昌陸軍に於ける日本の勢力必らず薄らぎ漸く擡頭せんとする獨逸が之に交る虞れがあつたからしい、で氏は戰時中役軍人でありながら、日露役の從軍徽章を有たぬ、何でも現陸軍中當時現役將校として從軍徽章のないのは氏等四五の人に過ぎないと云ふ▲尤も、氏は其の軍事顧問をしてゐた爲、中華民國大總統黎元洪氏とは友人關係があるさうだ、當時黎氏は佐官で武昌漢陽の地に駐まつてゐたのだ、中佐は工兵科の出身だけ著眼が頗る實際的と云ふ評判を諸方で聞いてゐた、親しく相對すると其の感が深い、朝鮮に來たのは支那から歸つて間もなくの事だ、山形閑大佐や、藥師川常義氏などと一所に明石將軍の麾下に參し、平北檢非違使を久しくやり、一度內地に歸つたが、又咸北警務部長の辭令を受けてゐる▲咸北の檢非違使として最も苦心するのは國境方面らしい、此の道は圖們江を隔て支那間島及び露領に接してゐる、殊に間島には朝鮮人が二十萬人も住でゐるし、江岸常に馬賊の出沒が絕れぬと云ふのであるから、國境の靜謐を保ち、對岸鮮人の直接斜ならぬ保護を加ふる抔色々頭を勞する事が少なくないやうだ▲部長は鏡城の寂れて行くのを心より遺憾に感じてゐるらしく、其の原因、鏡城の內地人が日用雜貨まで多く羅南に求むるにありとし、公用品私用品共に之れを可成鏡城で買はす事にしてゐるとも云つてゐた、何分料理屋は一軒もなし――一軒あれども話しにならぬ――外來の賓客が見ゐると、之れを羅南に拉して行くか、若くば羅南より料理人と女を呼ぶかするより外何等饗應の途なし、その面倒を忌めば、旅館の樓上で一席の宴を開くのだが實席に相應はしい女がゐないのだから鏡城ではさうした會合を會食と稱してゐるさうだ▲部長からは淸津鏡城間及び國境方面に於ける自動車の運轉可能論や、淸會輕鐵利用論や、國境兵備問題等に付若干拜承、但し公表を憚る事あり、又公表の時期に達せぬのが多いから茲には其の記述を控へやう、十一時頃寒い風に吹かれて宿に歸つた

△　△　△　△

記者は十三日歸京の途に就いたのである、また北鮮各地見聞錄は可なり記者の頭に殘つてゐるが、餘り惡文が長くなるから、こゝらで一應切り上げ、餘は後日に讓らう(完)

朝鮮十三道便覽

大正六年一月元旦附錄

大正六年一月元旦の京城日報は、新年附錄として朝鮮各道の事情を詳載せる小冊子を添附すべし、何人たりとも一見すれば、座に居て各道を親しく觀察し得べく、稀に見るの好便覽なり、投資家は之に由て、將來の計畫をなすを得べく、旅客は是に依て、最も愉快なる旅行をなし得べし、何となれば江湖諸君が知らんと欲するものは、殆んど蒐集せられざるなく、殊に其一目瞭然たる處は、密に本冊子の誇とする處也、其の內容の如き、我社が多額の費用と、多大の勞力を以て、悉く蒐集せる材料によりて、巧に編輯せられたるものなれば、此の一册だにあらば、既に諸君は朝鮮通を以て、自任するを得べし、本小冊子の如きは、我社が聊か江湖愛讀者諸君に、酬ゐんとする衷心に外ならざる也。

斯の如き好附錄ありや

京城日報社

〇悼浮碧樓丁奭　―五の日十の日會―

〇　黃丘
枯野月淡む寂しみ
〇　句平
吸殼落ちしまゝ火鉢冷ゆ
〇　華虹
長男なら我も長男に冬枯る
〇　虎耳
冬の月朧立ちに[illegible]と花白し
〇　鳥堂
ぶつこ斷れしきずなよ氷れ
〇　日池
三日四日枯菊に近かく

日報詩壇

〇秋雨懷鄕　內田六圃
秋雨霏霏夜又宵。陰蟲聲斷一庭寥。天涯孤客與誰語。想入故園魂欲銷。
評曰　又是眞情

〇秋日訪友人山居　竹田蕉雨
吟杖飄然問草廬。陰楓滿地[illegible]蕭疎。詩成恰如和松籟。猿鶴似門揭子居。
脩竹[illegible]濃澗[illegible]深。絕無塵處爽吟襟。美若幾歲山莊住。今日初知物外心。
評曰　幽情冷致、首首可誦

〇秋雨懷鄕　藤倉藤陰
細雨霏霏落葉天。客衾[illegible]夢蕭然。三更歌枕孤燈夜。唯有遠人形影憐。
評曰　句句穩貼、言言凄涼

〇秋日山行　田淵黍州
出野入山行且休。紅楓燃處試吟遊。仙鄉十載猶催騎。停杖遙懷萬里秋。
評曰　案元好問每逢花下即遲留句趣致更見新

〇秋日山行　西村秋湖
負兒山上業樵翁。漢水渡頭驅彩霞。紅葉黃花小春日。悅勸向客說榮華。
評曰　有景有情

日報歌壇

京城　佐々木楠子
町に灯の點きけり兄は東京の事など語・母とおはさむ
諦らめてあれど淚のそのひまに死の國白く光りみゆるも
かりそめの噂と思ひし友の戀の眞實となりて冬に入りけり

京城　篠崎湖治
冬は來ぬおもしろい瓶の薄氷をおどろく君の瞳の淋しみよ
あゝ鷗我に似るかな千丈の崖の出鼻に物悲しめる
冬降る靑き海面すれすれに一羽の鷗かなしげに舞ふ

京城　比樂子
牛よ牛、汝は知らずやわが身をやがては乘せむその空車

日報新年詞壇

‖募集課題‖

漢詩　課題　『丁未新年口號』『遠山雪』　(一人五首以內)　但し近體古體を問はず
短歌　課題　『春の灯』　(一人十首以內)
俳句　課題　『お降り』　(一人十句以內)

(注意)　締切十二月二十日、用紙半紙型、京城日報社編輯局新年詞壇係に宛て投稿の事

類書中の白眉　著者五年間に亘る苦心の結晶　大活用書　約壹千頁の大冊

法理詳說　判例參照　實例引用

全國の新聞雜誌は內容の充實せると活用的說明とは斯界稀有の特色と激賞す

去學博士磯部四郎先生校閱‖辯護士森健堂先生新著

債權者の法律顧問

一字一句皆活きて働く實用本位の大著述――大判約千七百十萬字

本書一册あらば敏腕なる辯護士一公證人代書人を雇ひ置くに勝る

著者多年の經驗と五ケ年の歲月を費し金錢物件の貸借賣買讓渡其他一般債權及物權人權上の新問題及實際上の難件に遭遇せる權利安全明なる解決案債權秘の事務を處理するの法理を實行等奧全策權利を實際の例に照しすべて述べ詳說し引證を或は照し理路整然と詳しく之を說明し何人にも之を利用し得る便利な書を女子も一讀の假名を付し公會の得なし殊に婦人も用ゐて全く疑問を解き秘術を得べく應用の座右に供へせば是を妙策奇策の如くならばならぬ悉く活用せらるべし

短期特價　約一千頁の大著　定價二圓三十錢　特價一圓八十錢
見逃す勿れ……此機を再び來らず
忘るゝ勿れ……特價部數僅に千册

正確適切なる本書の內容

地所家屋　田畑山林、船舶鑛山等を讓渡貸借の場合に有利の賣買、抵當、有効

契約　法律及實際上の諸注意を說き初め家具衣類商品其他の諸契約書の心得、貸倒れ防止の賣買、質入、株券債券讓渡の秘訣

賣掛代金　速に回收の方法

古き貸金　の手段に小切手を用ゐる法

手形　手形證書小切手諸種の不拂

銀行　の支拂停止

無盡　講金及其の賴母子講の始末

保險金　の取引上の規約

婚姻　其他夫婦の扶養に就ての問題

續續　相續の問題

災害　に因る損害賠償

恩給　の請求

電話　の問題

債務　の連帶保證

保證　の實際

債權　の讓渡

不當　不法の行爲に對する救濟

地上權　永小作權、先取特權

訴訟　必勝の方法

強制　執行、破產

契約書の書方　數百種

申請、訴狀、登記、書類の書方を網羅

實用本位の法律書なり

特價　壹千部限　一圓八十錢　送料金十八錢

▲洋布裝大判箱入頗美本定價二圓三十錢

發賣　東京日本橋區北新町　大阪屋號　大阪屋號

太陽

我政局の將來に就て……浮田博士
新聞を讀みつゝ……淺田江村
米國鐵道從業者の八時間問題……安部磯雄
歐洲大戰と軍國主義……添田博士
議者に檄し朝鮮官制改革を說く……漢城學人
保護事業整理の要……堀江博士
新文相に贈り文政の急務を論ず……遊方外史
戰爭に使はれた動物……南方熊楠
近角常觀(靈界の人物その四)……滄溟漁史
新大臣月旦……政界の表裏……無名隱士
戰後の海運政策……中橋德五郎
研究室の一隅より……笠原道夫
赤十字社改革論……工藤日東
公娼の禍害……千賀博士
追憶(戲曲)……長田秀雄
一人の女の手帳……與謝野晶子
碳壓(書齋の窓より)……內田魯庵
敎壇五年……河合博士
華族世襲財產制に就て……[illegible]道博士

十二月號　定價卅五錢　郵稅二錢
東京本町　博文館

ONOSALVIN

白檀油代用藥

コノサルビン

內服治淋劑として其効果を公認せられたる白檀油と化學的集成を等ふす治療的効果白檀油と相伯仲し殆んど消化障礙なき特徵を有す本邦產植物より發見せる純內國產なれば價格低廉なり故に本品は最も優秀卓絕なる

白檀油の代用として

好評嘖々たり
●文獻見本は醫家に限り本社より進呈す

發賣元　大阪市外中津町光立寺　三友製藥合名會社
特約店　大阪道修町　武田長兵衛
　　　　東京本町　小西新兵衛

經濟之日本

□信託預金の運用……中央貯蓄銀行取締役
□電氣鐵道會社の運命……
□米價の前途……上原謝吉
今買つて儲かる株
募集中の新株
善惡鑑別法……藤樫理事
□銀行家及當業者の株式觀……
□會計士と監查役……
□事業界の新進……吉村鐵之助論

十二月號　定價一册廿錢郵稅一錢　振替東京三二八八三番
東京神田區本郷八　經濟之日本社

醫術開業

小生儀專修後小兒科內科專門にて久留米市に開業致居候處今回小兒科學會及內科講習の爲め上京中引續き皮膚科研究仕舊友の勸めにより南山町三丁目京城ホテル前に開院仕專ら患者の診療に從事致候間此段謹告仕候也

樋雄改　原森俊

京城府南山町三丁目京城ホテル前
◎小兒科內科皮膚科
開業御披露の爲
診察無料
原醫院
長電話二六四三番

今回原森俊君京城府南山町三丁目に於て小兒科內科皮膚科開業仕候に付何卒各位の御引立被下度候也

久留米市醫師研究會總代
久留米市病院長　醫學士　石田光次

○アスキス首相の辭職

倫敦來電＝公報に曰く英國首相アスキス氏は辭職したり（紐育電報）

○支那最近の政局 形勢甚だ危殆なり

總統府側の消息に依れば最近の政局は表面平穩なれども今や官僚派と在野黨は各自衝突準備を爲し居れば何時波瀾突發するやも知れざる形勢なりと（北京特電）

○曹氏遣日と國民黨

曹汝霖氏の日本派遣に就き國民黨の意見は友邦の元首に勳章を贈呈するは國際上賀すべき事なり然るに此の重大なる使命を帶ばしむるに曹汝霖氏の如き外交上の名譽淺き者を以てするは不都合なりとて近く政府に質問すべし（北京特電）

○支那特使出發期

支那特派專使曹汝霖氏は多分十日北京發關東州朝鮮を經て來朝すべく東京着後數日間は公式待遇を受け更に官民有志と會見すべく二三週間滯京する事となる可し右に關し支那公使館參事官王鴻年氏は六日外務省を訪問せり（東京特電）

○英藏相の債券報告

四日英國下院に於て大藏大臣マッケナ氏は日本の引受けたる英國國庫債券の條件を報告し余は議會が今日の場合日本が英國に與へたる援助の多大なるを認識するを疑はずと說きたり（倫敦電報）

○加州邦人宅地沒收試訴

華盛頓來電＝桑港駐在日本總領事館の勸告に依り加州政府（此間電文不明）原田勇吉氏の邸宅地沒收に關する訴訟に對し被告は日米間の條約に依て保護を受くる權利あるを主張したるが加州は之に反して土地所有の如き問題は條約の規定如何を問はず主權の行動範圍に屬するものなりと主張せり（紐育電報）

○神宮山陵御參拜

皇太子殿下には立太子禮御饗宴御終了に付御申告の爲め八日伊勢神宮並に神武天皇　明治天皇山陵に御參拜あらせらるゝ事に御治定相成りたり（東京特電）

○仁川府尹轉任

六日左の如く辭令ありたり（東京特電）

任朝鮮總督府事務官（三等）　朝鮮總督府々尹　久水三郎

◉甲山鑛山近況 貨物輸送狀況

久原鑛業所經營の甲山鑛山所用物資は咸北城津咸南新昌の兩地より搬入されあり新昌線は道路比較的良好なるも距離遠きの憾みあり城津線は距離近きも道路峻險なるの不利あり互に一長一短あるが久原にては馬背に依り運搬し得る四十貫目位迄のものは之を城津線よりし其大にして大重量のものは之を新昌線によりて運搬するの方針を執り居れるが城津線は新昌線に比し道路險惡なりとするも距離著しく短きを以て結局城津線に依る方幾分有利なるの情態なるを以て近來に至る久原は運送事務所を城津に設置し城津地方有志が甲山鑛山物資運搬を目的として組織せる共同組合の經營不振なるを買收し更に運搬用馬匹を間島方面に購入して運輸機具の充實を圖りつゝあるが城津郡廳にても城津繁榮策として種々劃策する所あり先づ當面の問題として道路の完成を計る事となれるが城津甲山間二十六里中城津より約十八里なる銅店までは咸北管內銅店より甲山まで約八里間は咸南管內なるを以て先づ北道管內の城津銅店間の道路を完成せしむる事とせるが同區間は前年既に改修せられあり只だ城津より十二里の地點に一峻阪あり同所は傾斜急なるを以て馬匹は漸く通じ得るも牛車を通ずるを得ず著しく運搬力を減殺するを以て同峻阪をば迂廻の方法を以て避くる事とせんに工費約三千圓を要するを以て其一半千五百圓は道廳の補助を請ひ殘額千五百圓は久原の寄附に待ちて起工する事となれるが同工事竣成の曉は牛車の運搬を爲し得るを以て其輸送力は著しく增大し現在に倍加するに至らん而して昨今に於ける輸送狀況を見るに鑛山にては精鍊準備成り愈十二月一日より鎔鑛爐に點火する事となりたるが燃料としては一日約四千貫の石炭を要する筈にて此石炭は每日缺ぐ可からざる必要品なるを以て過般來盛んに城津より輸送されつゝあるが現在城津よりの輸送力は一頭四十貫なるを以て石炭一日の需要量を送るに尙百頭の馬匹を要すべく又た精鍊開始の曉は一日原銅二萬貫宛の生產量なるを以て之を鑛山より輸出に要する馬匹之れ亦五百頭を要する割合なるを以て城津今後の運送界は非常の殷賑を極むるに至らん因に本年七月久原が鑛山經營を爲すに至りてより十月末迄四箇月間に物資運搬賃として城津地方に散布せられたる金額は三萬三千餘圓に達すと（清津）

◉生牛第三回移出

客月九日敦賀露亞洋行及び大和田氏に依りて行はれたる北鮮牛第二回敦賀移入は輸送主任の經驗に乏しく設備不完全なりし爲め航海中大時化に遭遇し爲に二百五十頭中七十五頭の斃牛を出し尙ほ他に傷病牛を出す等慘憺たる損害を來し四五千圓の被害ありと傳へられたるも斃牛の皮肉其他に依りて約千五百圓を補ひたるを以て實際の損失額は二千五六百圓に止るべくと云ふ而して此の損害の爲といふめ露亞洋行は一時此事業を中止したるも大和田氏此失敗に屈せず却つて天災を以て經驗の一として參考となし更に生牛輸送に經驗あるものを主任として十二月中旬第三回の移出を決行する事となり現に吉州城津明川等に於て約百五十頭の生牛を買入れ之を城津に繫留中なるが尙ほ百頭內外を購入移出の豫定なり而して今回は船內に充分なる設備を爲し船腹には大豆を積込みて船體の動搖を輕減すると共に運賃を利し尙ほ敦賀より來航の際は甲山鑛山に馬糧及び原銅其用として使用すべき莖五萬貫を積載し來るべき筈なるが斯くの如く單に生牛移入のみならず往復航共彼我需要物資を以て船腹を充たし以て北鮮牛移入の經營に便し本來の目的たる日本海橫斷航路の目的を遂せん計畫なりと（清津）

◉船具類の拂底

海運界の活況に伴ふ船具類拂底に付某海運業者は左の如く語れり海運界の活況に伴ひ各地に於ける船具商人は益々活氣を呈し近時麻帆布の如き海外輸出頗る增進したる爲め內地一般市場への品薄く又綿帆布も各地製造家の大半は海外よりの大注文に應じ製造に忙殺されつゝある模樣なるを以て自然內地需要を充たすに至らず且つ各地製造所の下半期製品は何れも既に豫約濟の盛況にありといふ

◉鮮銀券五千萬圓に達せん 朝鮮經濟界の著しき膨脹

▲豫想外の增發 水上發行課長談

朝鮮銀行券は十月末以來增發又增發で六日は約二十萬圓を減じ四千六百六十萬圓になつたけれど大勢尙ほ膨脹の機運にあり金融界は益々繁忙を加へ穀類棉花等に對する貸出しは增加の一方で殊に今後年末決濟資金を少額ならず要する事は每年の例であるから十二月の下旬に至れば恐らく五千萬圓臺に上る事と思ふ之れを本年三月の最も發行高少なかりし二千九百萬圓に比すれば八割弱の激增となり前年の最高發行三千四百萬圓よりは一千六七百萬圓の增加を見實に意想外の事で吾等も朝鮮財界の膨脹著しきに目を瞠つてゐる予等は當初四千萬圓臺に上るとも其額多からざるべしとの觀測を持してゐたのであるが十月末より銀行券は躍進の步調をとり一日實に八十九萬圓並に九十一萬圓と云ふ多額の發行を行つた日もある其の增發を方面別に見ると木浦の棉花並に群山の米は船腹の關係もあるが既に若干最盛季を過ぎた觀がある今日では仁川平壤鎭南浦方面の活況著しきものあり元山地方に於ける明太の如きも今後大に資金を要するであらう何分滿洲の鮮銀券は先づ貨數四百萬圓以外であるから夫れ丈けを除いた鮮銀券の全部は朝鮮に流通してゐる譯で半島金融界の繁忙は實に空前と云つてよい斯樣な次第で鮮銀券の增刷は極力之れを行ひ發行課員は晝夜兼行事務を執り其の反對に發行課の銀行券銷却は全部中止し事務を休んでゐる

▲膨脹は當然也 阿部支店課長談

年末には必らず鮮銀券五千萬圓を超ゆる事と思ふが何故膨脹又膨脹其增發を見るやと云ふに之れを一言にして盡せば預金減貸出增の關係からで又其の原因を仔細に觀れば鮮銀券の膨脹當然と云ふの外はない何となれば本年鮮の輸移出入品並に鮮內消費品は殆んど全部歐洲大戰の影響で內地通貨の膨脹其他其々特種の理由に基づき餘程前年より騰貴してゐる石油を見ても棉布棉糸も砂糖も燐寸も何れも之れを昨年の同期に比すれば數割の値上りである又朝鮮の米も大豆も雜穀も去年より相當の値がよい棉花の如きも殊に高い故に假へば去年と同じ數量に銀行が貸し出したとしても評價が夫れ丈け上つてゐるのだから銀行券は當然增發を見る譯である之れに加ふるに朝鮮產穀の稀有の豐穰と移出の旺盛船腹不足に伴ふ各方面の堆貨並に穀價の値上りに依り農民收穫好調の結果購買力の增加は輸移入品の活況を呈し之等に對する各種資金の增加した貸出しは少なからぬ數で朝鮮銀行のみにても最近短期間に七百萬圓の增加を示して居る之れ蓋し朝鮮財界の發展に伴ふ自然の結果に外ならず通貨の大膨脹を不可なりとて之れを人爲的に抑制するのは決して妥當であるまい無論鮮銀として財界の趨向には常に注視を怠らず警戒は寸時も休まぬのであるが今日の半島經濟界の進展に伴ふ鮮銀券の增發は決して危險性を帶びてゐるものでないと信ずる

◉慶北漁業殷賑

慶尙北道盈德郡沿岸漁業は十一月二十三日以降頓に活氣を呈し江口、長沙間及び江口、丑山間近海に於ける魚群の蝟集漁船の出漁は近年稀に見る處にして一時虎疫の爲め影響を蒙りたる漁夫等は晝夜兼行從事しつゝある有樣にして此儘當分持續せば平年以上の漁獲ありとて彼等も漸く愁眉を開きつゝあり而して江口港近海に於ける漁船數は約五百餘艘を算し一日平均主なる漁獲高を示せば如左

魚別	數	價格	備考
鯖	一〇〇、〇〇〇尾	四、〇〇〇圓	一尾平均四錢
鰮	三〇、〇〇〇	九〇〇	同三錢
[illegible]	五、〇〇〇	二、五〇〇	同五〇錢

尙ほ最近に於ける賣買は全部海上に於て之れを行ひ販路は槪ね釜山地方に搬出しつゝあり

◉移出牛皮卅萬圓

城津港輸移出重要品たる牛皮は前年來歐洲戰亂の影響として頓に其輸移出額を增加したるが本年一月より十月末日迄に於ける輸移出牛皮價額は二十一萬三千二十三圓に達せるが露國[illegible]出しに依りて軍需品の注文增加せば從つて牛皮の需用激增すべく本年中には輸移出額三十萬圓に及ぶべく豫想せられあり（清津）

◉咸北交通と馬匹改良

咸鏡北道は交通不便にして牛車の通せざる地方少なからず此等地方の交通は馬背に依るの外なきを以て特に優良馬匹を要するものあるに拘らず現今の馬匹は體軀矮少且つ負荷力弱くして不便不利少なからず殊に近來地方の開發と共に交通頻繁となるに從ひ其不便を訴ふるに至り現に城津甲山間の如き甚だしく輸送力の不足を來すより間島地方より多數の支那馬匹を輸入するの有樣なり尙ほ又た咸北と間島及び琿春地方とは經濟上密接の關係を有し彼我の交通頻繁なるに係らず常に牛疫の爲牛種の交通を停止せらるゝの狀態なるを以て多くは馬匹に依るの外なく旁々馬匹の改良と增殖を圖るは緊要事なるを以て咸鏡北道廳にては管下府郡の產牛組合をして優良なる支那種牡馬一頭を本年內に購入適當の者に預託し種付を爲さしむる事とせり（清津）

◉七回移民審査進行

東洋拓殖會社に於ては其後第七回移民の審査を銳意進行せしめつゝあるが結局移住承認通知を發するは五百戶を多く出でざるべし尙ほ本年は朝鮮內居住者にして移民たらん事を申込める者は成るべく之れを採用せざる方針にて事務を進めつゝありと

◉仁川船舶入津激增

新穀の出盛石炭鹽の輸入增加に伴ふ船舶の仁川に入港する者近來非常に增加し斗量場棧橋の如きは江華島及び黃海道忠淸道與地沿岸より籾を滿載する船數百艘を數へ運輸部棧橋附近は山東省炭及び鹽を積載せるジャンク數十艘の入港を見港內は大小船舶、艀舟等に埋めらるゝの盛況を呈しつゝあり（仁川）

◉淸津近海烏賊漁

本年十月中旬來淸津近海にて漁獲されたる烏賊漁は當地方未曾有の現象とする所にして同漁業は十一月二十日頃迄繼續せるが其漁獲高は二十三萬九千餘尾價格五千餘圓に達せるが漁獲物は少數の一番鰑を交へたり二番鰑にして大部分は生鮮の儘販賣せられ食料及び鰑餌料に用ゐられ干製せられたるものは小部分に過ぎず（淸津）

◉京畿漁業講習成績

京畿道に於ける本年度漁業講習成績を聞くに講習船は網船一隻釣船二隻に內地人教師各一名通譯兼助手各一名宛乘組み仁川を根據地として京畿道沿岸より黃海道忠淸南道に亙り六箇月從業延人員三十二名の總漁獲高一千三百四圓〇二錢にして一人當分配額三十八圓三十五錢の好成績を收め猶之の講習總費用と漁獲高を比較せば經費一千圓に對して七百三十二圓六十錢を得たることゝなり各道の成績に對比するも頗る好成績を擧げ得たりと

◉新造機關車

本年鐵道局にて滿鐵沙河口工場に新造を註文しゐたる六輛の機關車中三輛は既に出來して廻送し來りしも殘餘の三輛の竣成は明年に入るべく鐵道局にては刻下貨物輻輳の際とて其の竣工を急ぎつゝあれど到底今冬の間には合はざるべしと

◉金街間輕鐵計畫

慶尙北道尙州の地は逐次發展し鑛山、蠶業等の發達に伴ひ物貨の移出入は前年に比し約七割の激增を示し自動車、馬車は早くより通じ居れるも頭日運輸機關としては滿足出來ざるを以て有志間には金泉尙州間輕鐵敷設の計畫ありと（大邱）

◉京畿植林苗木配付

植林獎勵の爲め京畿道にては明春左記の苗木を下附すべく希望者は十二月末日迄に所轄府尹郡守に下附願を爲すべし苗木の種類は

ニセアカシヤ、アカマツ、クロマツ、クヌギ、クリ、ヤマハンノキ、カヘデ、エンジユ、ハゼ、チタチハギ、コノテカシハ、ナラガシハ、コナラ、サハラ、クルミ、クルミ、ポプラ

等苗木總計成苗有償下附三十六萬四千五百本無償下附成苗百十三萬五千七百七十四本幼苗百七十五萬九千六百四十六本合計三百二十五萬九千九百二十本なりと

◉安城農產品評會

京畿道農事獎勵會安城支會にては來る十一日より三日間小作穀及び農產物品評會を開會すべく審査員として道より技術員の出張を見る筈なり

◉遣歐兩武官出發

歐洲へ派遣を命ぜられたる砲兵大佐長野準四郞同南部麒次郞兩氏は七日朝南大門驛發露都に向ふべし

人事消息

▲布施勝次氏（大阪每日記者）家族同伴同上
▲宮川五郞三郞氏（平壤電氣會社長）六日夜入京
蒲尾へ
▲蛯保之助氏（水原勸業模範場技師）
▲篠田恩氏（全南技師）六日夜退京
▲中村長五郞氏（實業家）七日朝退京の筈

◉上林忠南長官談片

客月二十二日より忠南の西南部各郡を巡視し本月三日歸任したる上林忠淸南道長官の談片如左（公州）

初めて田舍を巡り第一に非常に嬉しく感じたるは各地到る處の日鮮人融和し互に相援け合ふと云ふ位迄に進み居たる事なり之は著任來非常に心配し居たるが事實全く右の如くなるを以て大に安心せり又前任小原長官が文廟を拜し兩班儒生をして相當社會上の地位を認め指導啓發したる結果彼等は非常に新政を謳歌し官吏を信賴し總て喜んで其の指揮命令に服從し居る事も愉快の一なり次に新教育の力の偉大なる事は洪城郡に於て品評會を見たるも其の出品中優等品は皆學校卒業生の出品に係るものなるを見ても明なるが是等により一般鮮人も漸次其の必要を自覺し來り各地普通學校の生徒募集に際し定員以上に入學を申込む有樣なるが或る一部に今猶入學を嬉ばざる模樣あるを聞くは甚だ遺憾に堪へず之は學校當事者の心掛け如何にも因るべけれども大に考量すべき事なり云々

◉輸出入米趨勢 注目すべき現象

[illegible]十四萬二千五百三十一擔即ち約六十三萬三千二百八十八石なりと之れを例年に比すれば[illegible]一箇年分に近き[illegible]昨年來我國產米の豐穰なるに連れ米價下落し自然外米に需給を俟つこと少なく却て輸出を盛ならしめたる[illegible]變態を來たせることは蓋し米界に於ける實に刮目す可きの價値なしとせず[illegible]

	輸入量	輸出量	計
大正四年十一月	六〇、九〇九擔	七一、一九六擔	六〇三、七四六
同十二月	六〇、三二八	二二二、七〇四	一、四五二、五三一
同[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

因に輸出先は英國最も多く米國露國之れに亞ぎ其大部分は矢張食料に供[illegible]

[illegible]一日旭町一丁目石川宿屋に宿泊中も重氣に擔ぎ行く擧動の如何にも不審なるより直に呼び止め訊問せんとしたるに件の鮮人は其の包みを投出し[illegible]同家の押入より銘仙の綿入一枚（十圓）を竊取し[illegible]水道鐵管一個を竊取し[illegible]に包んで運搬せんとしたるものと判明し其儘本署に引致せり（木浦）

年末經濟號

妻に對する夫の道……鳩山春子
眞の經濟家となる秘訣……棚橋絢子
一家經濟と食物經濟……澤村博士

火災に遭つた經驗
▲輪島の大火に丸燒となる……じつ子
▲函館の大火に遭つた經驗……つる子
▲神田の大火に遭つた時の思出……笛子
▲大阪の大火に燒出された經驗……津子
▲夫の留守に近火に遭つた經驗……內田舍

去年と今年の經濟
▲收入は減じても貯金の出來た今年……
▲去年は東京今年は田舍の生活……
▲經濟號を讀んで一新した我が家……よれ子

年末經濟の思出
▲僅か三十錢で越した年の瀨……ゆきね
▲一冊の雜誌で救はれた年末の思出……まさ子
▲銀行破產のために苦しみし年末……晴子

主婦の讀物
▲廢物利用で百五十人の着物……大人
▲新に工夫した赤坊の冬肌衣……津田とし子
▲子供の鼻風を油斷するな……吉田醫學士
▲百日咳の妙藥……
▲最新流行の大正式挿花法……廣川十三男
▲洗顏料としての效用……北原まき子
▲家庭の實驗いろ/\……
▲小鰮の料理と旨しい漬物……
▲家庭で出來る絹物の洗張と色揚……
▲月三十圓で轉地療養の家計……さだ子
▲家庭は如何に銀行を利用す可きか……記者

家庭小說 憂き身（原稿七十枚の大作）柳川春葉

婦女界 十二月號（定價十七錢郵稅一錢半 半年金一圓十三錢 一年金二圓十五錢） 東京牛込加賀町 婦女界社 振替二〇二六三

愈四十一版發行 明年は大景氣の年なり
何人も本書に依て明年の運勢吉凶及氣候農事改良各種米株式及明年中必要五十餘種○明年度の米株絲各種の高低表等あり 買方針並本年度の
大正六年御壽寶 定價金十五錢郵稅共
大正六年農家曆 定價金十五錢郵稅共
東京本鄉區湯島四丁目 神誠館

內地塊炭 撫順塊炭 無煙煉炭 商
京城西小門通 西崎商會 電話七二七番

例年の通り 年賀用はがき名刺 破額を以て御注文に應ず
明治町二丁目（元昭町） 下川印刷所 電話二八五九番

日韓書房 新版部告
本多日生著 法華經講義 上卷 定價一圓八十錢 送料十八錢
山本實彥著 我觀南國 定價一圓五十錢 送料十六錢
米國通大家諸家著 米國研究 定價一圓 送料十二錢
俳叢書 芭蕉翁全集 定價一圓五十錢 送料十四錢
三宅克巳著 寫眞のうつし方 定價七十五錢 送料八錢
京城本町二丁目 電話一五一一番 振替口座五四

露文印刷開始
時勢の要求に應ず可く露西亞文印刷の設備完了仕候多少に不拘御用命奉願上候
京城長谷川町百〇五番地 大阪市田オフセット印刷合資會社代理店 石版活版各種 印刷製本業 中田普成社 電話二一〇五番

入したる外國米は六十三萬七百四石を抱擲ち我が二十七萬千二百二十石に相當し又輸出したる內國米は百七[illegible]納二三十萬石なりと稱る[illegible]年に於ける輸出入米數量は上記の如く全く正反對の現象を示せるを見るこれ一例を呈せしことは近年觀ざるの現象にして而も我國供給米の現狀より[illegible]察し此相殺して二百餘萬石の

●朝鮮臺灣等の移出入額[illegible]如上の傾向を示せる地[illegible]め各月別の移出入品高を示さんに

[illegible]	四九、六四一	一七、七九一
七月	六六、九二五	一五七、五〇七
同八月	八六、五〇四	七四、六八三
同九月	八七、四五一	九六、三一三

●下宿屋[illegible]　龍山青葉町一丁目居住熊本市紺屋今町生れの寺本嘉平（二八）は前科一犯あり十一月十

●鐵管を盜[illegible]　[illegible]日午後八時頃木浦署の警官が本町二丁目を偵邏中一名の鮮人が麻布に包みし細長き物を左[illegible]て引つ捕へたるが右の鮮人は木浦南橋洞皮相明方監賈金明瑞（二八）と云ひ大和町所在の木浦府鐵管置場にて

●歡びの祝杯擧げて
和氣靄々たる秋山司令官の招宴

駐劄軍司令官秋山大將の招宴は六日午後三時二十分より開催、京龍官民約二百名の來客あり非常な盛會裡に同四時宴を撤した、此の日龍山の軍司令官々邸には既に定刻三時前より

□自動車腕車を驅つて來集する者相踵ぎ階下入口左右の應接室には立花第十九師團長、古海中將、白川少將等を始め總督府及び所屬各官の高官、京龍內鮮實業家、東拓、鮮銀、朝鮮瓦斯等の銀行會社側、並に京龍各學校の學校長、陸軍將校[illegible]等フロツクコートに軍服の人々にて歡談場に滿つるの盛況であつた、斯くて正面表玄關を這入つた人々は何れも陸軍大將の

□軍服嚴めしき　秋山將軍に祝詞を述べ將軍も亦莞爾として答禮しつゝある間定刻の時間となり一同階下の食堂に案內せらるれば此所には眞白き卓上に草花及び酒肴を盛られ清楚なる立食の宴を開かれたのであつた、やがて來賓の席定まるや秋山將軍は起つて一場の挨拶を試み先般不肖菲才を以て此の地に軍司令官の重任を帶び今また陸進の榮を擔へるは何よりも不肖の

□光榮とする處なりと述ぶるや立花師團長また來賓を代表して大將の爲めに祝辭を述べ來賓何れも和氣靄々たる裡に秋山大將の健康を祝して盃を擧げたのであつた、猶ほ宴は政務總監、總督府各部長官、外國領事團を除きたる殆んど京龍全部の官民有志者にて主に實業家方面會社銀行員等の顏振多く見受けられたるが就中將軍の令兄岡京城電氣專務が莞爾として祝宴に列れるも羨ましき限りであつた

秋山軍司令官の招宴

●露國へ
國民性を觀る可く　長野砲兵大佐談

歐洲各交戰國に派遣仰付られたる長野砲兵大佐、南部砲兵大佐は六日午前八時五十分京城着巴[illegible]に投宿七日八時二十分南大門發急行列車にてペトログラードに向ひたり長野大佐の談に曰く

今回歐洲各交戰國に派遣される事になりましたが凡てペトログラードまで參らなければ自分ながら自分の行動が判らないのですペトログラードに參つてから

■一切の命令を受取る事になつて居ります從つて滯歐期間なども豫め知る事は能きませんが先づ露、英、佛、伊及び巴爾幹の一部を視察し都合に由つて米國を經て歸る考へでありますす視察は單に軍事に關するものばかりでなく各國戰時に於ける社會狀態軍器軍需品の製造所等は能ふ限り視て參り度いと思つて居ります自分は明治三十年から三十六年頃まで歐洲

■各國を視察した事が有りますが十年を經た今日殊に戰時の事故定めし凡てのものが驚くほど違つて居る事と思はれます、戰爭は冬に入つてからも相變らずドシ〳〵進捗して居る模樣であるが露西亞の方だけは最早日も短かし寒氣も烈しい爲め敵味方共に對陣して來春を待つより外は致し方はありますまい戰亂の終結に就ては今以て神ならねば豫言する事は能きますまい、歐洲各國民の持久力は

■我國民の模範とするに足る處であらうと思はれる彼等は勝つたからと云つて日本人の如うに直ぐに提灯行列や祝捷會を開いて大浮れに悅んだり騷いだりせない代りに負たからと云つて急に力を落したり自國の陸海軍を無能呼はりするうやな事をしない上村將軍が濃霧の爲に浦鹽艦隊を逸したからと云つて日本人は將軍の邸宅を襲擊したが歐洲人も若し斯んな事をしたならば露國や英佛などの將軍の邸宅は全部打壞はされて終はなければならぬこんな元氣は一時の

■短い戰爭には好いが何年間も勝負が決せなかつたりまたは何年掛つても國家の目的を達する迄は飽まで戰を繼續すると云ふやうな場合には國民は冷靜に其の職務に對して戰爭である國家の危急存亡の時であると云ふ覺悟で働かなければならぬ歐洲人は從來分業式に出來て居るから戰爭する人は戰爭をし他の職に就て居る者は其の職に忠實に働いて戰場の一勝一敗を以て忽ち狂喜し忽ち銷沈するやうな事は無い此の點は或程度まで取つて範とするに足る事と思ふ

●天晴れ、國家の干城に
班長に伴れられて市中の見學
=三=練兵は來年の春から

初年兵の此の頃の日課としては朝七時に起きると寢具を上げたり洗面を終つて朝の食事にかゝるのが八時、その前に行ふ

◇室內の掃除　などは二年兵が當分の間遣つてくれる、朝食が終ると一時間の學科がある―學科と言つても部隊の編成、上長官の官等氏名といふやうな簡單なものでそれが濟むと質科―即ち兵士としての要素を備へるに最も必要なもので始めの內は不動の姿勢、敬禮體操といふやうな簡單なものだが

◇始めて敎を　受ける身には中々難かしいところがあり、殊に敬禮などは同じ上長官でも階級によつて違ふので鳥渡直ぐには覺え込まれない、之れが一時間半で濟むと十二時の晝食、晝食が終ると寢床を作つて更に午前の通りの學科、質科の課業を受けそれから入浴被服の手入れ靴の手入にかゝり五時半の夕食が濟んで一時間の學科を課せられ

◇八時に寢て　八時半に消燈となる、之れが初年兵の昨今の日課で大體に於いては之れによつてはゐるが食事の仕方とか、煙草を吸つていゝ場所惡い場所、物の言び方、步き方、顏の洗ひ方、寢床の上げ下ろしまで所謂軍隊式のやつを敎へ込まれる、憶ういふ方面の敎育に忙がしいので練兵を受けるやうになるのは來年の春二三月頃となる

◇大事にして　くれるとは言ひ條、二年兵に對しては萬づ遠慮して酒保通ひも出來ない、それに下關を出る時持つてゐる金は皆返して終へと言はれたがそれでも若し入用でもあつてはと用意して來た金も隊に入ると二圓を限りあとは

◇悉く貯金を　させられて終つたので手許も甚だ貧弱なので何れも酒保には出掛けない、初年兵の單獨外出は本年一杯は許されさうにも無いが、來週邊りから班長に連れられて市中見物に出かける事となるであらう、彼等は今その日の來るのを待つてゐる（おはり）

●夫と子に毆り殺さる

蔚山郡彥陽面盤淵里農金祥喜（七二）の妻李登山（六七）は二十年程前夫の目を忍びて親戚某と情を通じ駈落ちしたるより近隣の者より祥喜の不甲斐なきを嘲けられ遂に親戚にも絕交せられ日陰者同樣となり長男金泰潤と共に以來登山の行衛を搜索し居たるに更に行先知れず今日に及びしが去る九月初旬之れ迄知れざりし登山は年老ひて情夫に見捨てられ行先なき所より厚顏しくも祥喜の宅に舞ひ戾りしより一家風波の絕ゆる間とてなく互ひに言募りし末去月十八日祥喜父子は登山が是れ迄の不埒を責めたる後鈍刀を揮ふて後頭を亂打し死に至らしめ犯跡を蔽はんため夜中密かに屍體を附近の小川に投じ自から溺死したる如く裝ひ居たるを翌日附近の者が發見し其筋に屆出でしより直に係官出張死體を檢視せし結果全く他殺と認定したるを以て祥喜父子を嫌疑者として引致取調べ中（釜山）

●蠟燭から出火

六日午前六時頃京城泉町安星七方便所より失火し常備消防出動消防に努め同六時四十分消止めたるが同家の七歲なる子供が蠟燭を點じて便所に入り置き忘れたるより遂に發火するに至り便所一棟居宅溫突一間（二十圓）を燒失し隣家の木村倉庫に延燒して一部（損害二十五圓）を燒毀せり

●不貞の嫁を恨んで
洋刀を咽喉に突立つ

仁川花町一丁目李鍾禹（三二）は四日午後六時頃自宅に於て洋刀を咽喉に突立て苦悶し居る處を長男宅鍾に發見せられ直ちに仁川病院に入院せしめ應急の手當を加へたるが原因は仲宅鍾の妻が力武精米所に米選稼に通ひ居る裡某と情を通じ一週間前新花水に

●大豆船の沈沒

慶北迎日郡浦項鶴山洞兄山江の川口に於て十一月二十七日午後十一時頃鮮運廻送店浦項支店所有の鮮船六十石積み一隻が汽船襄陽丸に大豆百六十叺を移送せんと航行中暴風の爲め深さ六七尺の所に沈沒したるも乘組員三名は救助され船體は二十八日午前十時引揚げたりと

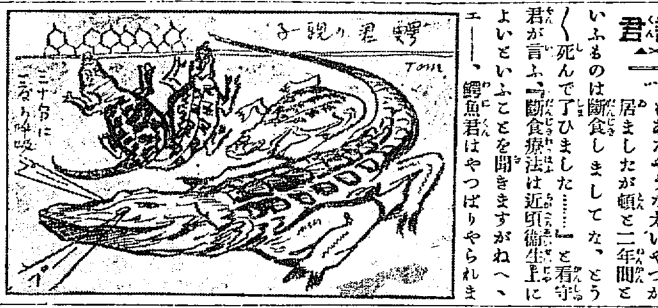
●掏摸

高陽郡龍江面西江生れ崔萬五（三二）は前科三犯あり本年舊九月十三日振威郡烏山の牛市場にて某鮮人の腰巾著を切取りて在中の現金四十圓を掏摸り京城地方法院にて懲役三年の處分となる

●忘機吟社例會

忘機吟社にては來る十日（日曜）午後一時より大和町三丁目曹谿寺に於て例會を兼ね忘年會を催す由

動物諸君
――鰐魚――



『動物園の鰐魚はどうも育ちが惡くて困ります、以前は胴の廻りが一抱へもあるやうな太いやつが居ましたが頓と二年間と斷食しましてな、とう〳〵死んで了ひました……』と看守君が言ふ『斷食療法は近頃衞生上によいといふことを聞きますがねへ、エー』、鰐魚君はやつぱりやられましたかね……」とスケッチ君は同情のないことを云ふ、幾ら痩我慢の鰐魚君だつて二年も喰はずに居りやあ死ぬるに違ひない、此の頃居る四匹の鰐君はまだ子供で力が無いけれどもあの尻ツポには恐ろしい力を有つて居るげな、鰐魚君はデカンショで半年しやくらすあとの秋から春まで寢て暮す、此の頃も三十分ぶりにスウ〳〵！と大きな長い呼吸をつきながら心地よさ相に眠つてゐる

ばんげい

▲黃金館　五日より寫眞替を爲せるが其の重なるもの左の如し
△實寫伊太利クレツの景△滑稽サインの夢△滑稽上つたり下つたり△軍事活劇密書六卷△新派家庭劇一ツ火（[illegible]）

▲大正館　七日より寫眞替其の主なるもの左の如し
△實寫英國皇帝大學運動會行幸光景△舊劇西洋二人息子△滑稽知らぬ顏△新派悲劇命の三卷△探偵劇魔洞窟三卷六千呎△舊劇國士彌太郎

▲浪花館　浪花節吉川ノ勝七日夜の語り物左の如し
△五郎正宗（吉川鐵舟）△征韓論（吉川鐵舟）△いかるが平賁（浪花錦升）△慶安太平記（吉川吉之）△法延の波△美人殺し（吉川令勝）

▲淨瑠璃熱心の議士高橋章之助君は立派な虎髯を蓄へてゐる、君はこの虎髯を好きな淨瑠璃以上に愛し且つ自慢してゐる▲何うしてこんな念の入つた長い虎髯を蓄へてゐるのかといふに高橋君の家庭では代々淸正公を祀つてゐるからだと或人の話▲釘本藤次郎君は高橋君に劣らぬ是れも淨瑠璃の熱心家で俳名を一柳といふ、一柳と名乘るに至つたのは抑々淨瑠璃の習ひ初めが三十三間堂棟の由來であるからだと▲秋山軍司令官の六日の招宴に臨んだ森安博士はつく〴〵古海將軍の顏を見ながら惡廢名吟をかいた▲日く『鐵砲でおどして雉子を買ひに來る。』また日く『梟を蠹擊つ人の手腕かな……逃ぐる敵をば追はぬ主義に』▲軍司令官官邸の馭者九山隆策君は去る三十八年長谷川軍司令官以來の家附きであるがこんど長谷川閣下が見えたら十年前のむかしばなしをしたいと悅んで居る

京日案內

普通　一回前金　三十錢　番外　六十錢　▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

●病院讓りたし　市內目拔の場所患者多數歸國に付讓りたし　864

●店員入用　京城花園町　豐商會石鹼工場　電話一三八四番　年齡廿歲以上卅歲以下

寫眞門生入用　十五歲より十七歲迄　長谷川町　電二七二二　田中寫眞館　868

●習字御手本類は何でも有ります（目錄進呈）　東京市南神保町九　精華堂法帖店　872

●外務員募集　精力主義の士　旭町一ノ十一　成身腕達　携帶來談　日本徵兵生存保險會社駐在所　857

●金融　月收の御方へ極秘信用便宜立替御報同又御來談　大和町三の三二（柄澤前）　起木屋　862

●店員入用　商業學校卒業者　年齡十五六歲以上廿二三歲迄　數名　南大門二　竹田出張所　電一三九〇　860

●金融　月收の方に秘密信用貸便宜立替等御報付上候來談吏佳　本町電車終點北　質屋　大和屋　861

●格安にて讓渡したし　土地百拾六坪　望み方は北米倉町百六番地森義勇に來談ありたし　847

●京城で一番安くて上手で丁寧な染物店は　南大門通二丁目　西野染工場　電話二三八六番　833

●古本熱心高價買入　●是非御試賣を乞ふ　●電話二七八一番　▲御報參上　▲本町四　▲書肆　群書堂　828

番外　石版手引機械數臺　買入希望者は來店あれ　京城旭町二丁目　京城印刷所　865

內職　隱居婦人の手內職として出來る所いらずコタツの上にてもできやすき手仕事あり希望者は來店あれ　旭町二丁目　京城印刷所　866

●外務社員採用　希望者は履歷書携帶來談之事　京城黃金町一丁目六十番地　國民興産株式會社出張所　870

酒　內地酒を凌駕する絕對無防腐の醇良酒　而も價格は內地酒の三分の二　京城櫻井町　電話一七七　中井酒造場　869

地方販賣主任募集　新刊書籍販賣月收五十圓以上高尚簡易　市郡一名採用規則申込次第無代送　東京下谷區櫻木町四〇　大塚出版部　871

盆石教授　京城旭町三丁目十番地護國寺際　細川流石家元　京城支部　805

●京城春川間行自動車賃金片道四圓　●京城春川間每日午前八時卅分出發　南大門通一丁目　電話二一九番　廣橋自働車　京春組　主務　金正淵　859

銃砲火藥　自轉車　●京城　●太田　●公州　瀧川銃砲店　854

毛皮なめし並に仕立　鳥獸剝製調進販賣　京城本町三丁目　電二〇六　榊元商行　842

百貨運送　春川加平忠州利川原州牧溪各地方　牛馬車運送取扱確實迅速　京城鍾路五丁目　電二八〇六番　友田運送部出張所　850

大和町一丁目（日の出橋下る）　小兒科　內科　院主　古城俊吉　爲春堂醫院　（電話九二八番）　656

角形石鹼元祖　京城南米倉町二八四番地　浦本石鹼工場　電話三二九　振替京城三二三九番　759

朝鮮總督府裁判所書記　早川保次君編著　改訂增補第三版
朝鮮不動産商業登記申請書式全
紙數四百八十餘頁　定價金壹圓郵稅拾錢

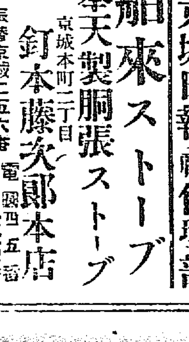
本書は今や再版壹萬部を賣り盡し尚各方面よりの要求盛なり此の甚大なる江湖の大歡迎に對し更に改訂增補を行ひ茲に第三版を發賣するに至れり抑も登記に關する有ゆる知識は本書に說き盡して餘蘊なし

不動産登記の部には土地調査に關聯せる不動産登記に關する囑託書式等併て百二十餘件並に印鑑屆、印鑑證明、保證書、（京城府所定）委任狀、契約書、誘認書、建物圖面及共同擔保目錄雛形等を掲げ加之官通牒、實例等苟も申請人の參考と爲るべきものは擧て各書式の末尾に掲記し以て疑義を明釋し又

商業登記の部には未成年者、妻、法定代理人、商號、支配人及各會社に關する申請書式等併て五十餘件を登載し且一讀何人にも了解し得へき程度に於て土地所有者、不動産上權利者、會社、代書者必備の參考書たり

發行所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

新荷着



舶來ストーブ
奉天製胴張ストーブ
京城本町二丁目　釘本藤次郎本店　電話四五番　電話二七七四番　振替京城二五六番

入院隨意
酒井婦人病院
京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）　電話二六〇一〇八番

福引景品附
歲暮大賣出
十二月五日より三十一日迄

金壹圓每に景品劵一枚呈上即時店內に於て景品と引換可申候

特等　東京製桐洋服簞笥　一　源氏繪金屏風　一双　金張衡立　一
壹等　東京桐簞笥　二本　前桑茶棚　一本　宣德火鉢　一對　金張トランク鞄　一　石入紫檀机　一　姿見鏡　一　瓶掛火鉢　一
貳等　毛布、醬油一樽（四斗入）、鏡臺、薄端、白米（一叺）、桐甲タンス、會席膳、茶棚、鞄
參等　重箱、旅行鞄、吸物椀（十人前）、鏡臺、水屋
以下拾等迄全部空籤なし

Ⓗ 平田商店　京城本町一丁目　電話六九五番　振替京城一〇八三番

新築移轉　明治町二の卅　（元漢城病院下橫通　川崎大正醫院前）
産婦人科專門
中央婦人病院
電話二三四〇番
手術室　病室　各等完備　院長　衣笠茂

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

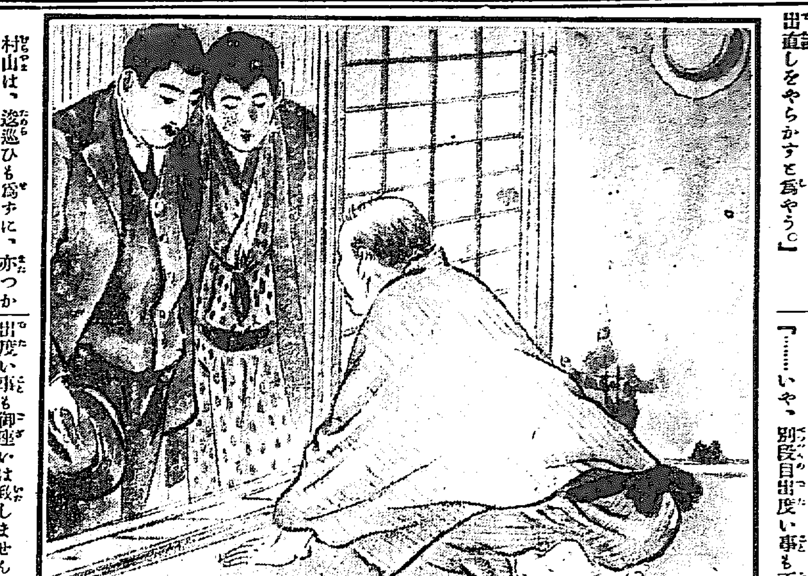
一四　女の行方「三の五」

湯上りの老人は、二人が方には殆んど眼さへも呉れない。好い心地さうにほてつた頬桁を夕風に吹かせながら、問題の家の門口をがらりと開けて内へ入つて再びぴつしやり。

「村山君、彼が主人公だよ。」

幸三郎は、慌だしく村山の袖を引張つて知らせた。

「はゝア、湯に行つて居たんだね。好し／＼！それでは、僕がいま一應出直しをやらかすと爲やう。」



村山は、逡巡ひも爲ずに、亦つか／＼と初めの如く戸口へ寄つて、同じ事を繰返した。

と、今度は正しく主個の總十郎老人の聲で、二ッ三ッ行詰つたやうな咳拂ひが聞ゑたが、

「誰方か存じませんが開けてお入り下さい。」

「では御免下さい。」と、村山一人靴脱へ入つて「甚だ突然では御座いますが、貴方が白富さんでお在ですかね。」と、稍横柄な語遣ひ。それは勿論頭から嚇しかける了簡があればこそである。

「はい、私が白富總十郎で御座いますが、貴方は地體何方の……？」

總十郎老人の正直一點張の顔には早くも一種の不安らしい翳りの影が浮んだ。

「僕ですか、僕は此方の御親戚でお在る牛込の倉橋の友人ですが、承はれば、此方には何かお目出度い事があるとやら……いや、あつたとやら云ふこつですが、それに就いて少々お聞き致したい事が御座いますので……。」

言ひながら、村山は、どつかり上り框に神輿を据ゑ込んだのであつた。

それを聞いた總十郎老人は、駭破こそと云はぬばかりに、遽かに狼狽ゑたやうな眼付で、少時はどぎまぎと爲ながら、家の中の其方此方を譯もなく見廻はしたが、

「……いや、別段目出度い事も不目出度い事も御座いは致しませんが……じ、じ、實はその、娘を一寸他へ奉公に出しましたので……何かそれの事のお聞違ひでは御座いますまいかの。」

「はゝア、成程、お嬢さんを他へ御奉公に……立ち入つた事をお聞きするやうですが、御奉公先は何方で御座いませう。」

村山も元より主個のお人善たる事は、辛三郎から聞いて承知して居るので、腹では少々氣の毒の感じも爲ないではなかつたが、乘りかけた船ゆゑ、愈々鋭く切り込んだのである。

と、總十郎老人は、益々狼狽ねきつた氣色で、只さへも湯上りの眞赤に輝く禿額から、じり／＼と油の如き汗を滲ませつゝ、

「その奉公先の儀で御座いますが、實は親の私さへもまだ能くは存じませんやうな次第で……はい。」

「もし／＼、白富さん、お語の中ですが、お娘御の御奉公先を、貴方が御存じないとは、餘り理窟に合はな過ぎるやうですが……ね。」

「はい、誠に御道理では御座いますが、眞個一家の事は家内に任せきりで御座いますので……私はまだ詳しく聞き糺しも致さずに居りましたので御座います。是非御必要と御座いますなら、明日でも情願家内のお久が居ります時にお入來を願ひたいもので……はい。」

二語目三語目には、米搗虫のやうに「はい／＼」と言つて、只頭を疊へ下ぐるのみである。

「いや、必要不必要の論よりは、兎にも角にも倉橋家と云ふ御親戚でもあり、亦彼の幸三郎君とは十數年前から許婚のお約束のあるお嬢さんを他へ奉公に遣つてお了ひになるとは物堅い貴方の御處置とも覺ゑませんな。僕は幸三郎君の友人として、態つて打捨つとく譯に參らんのですから、貴方が什うあつてもお知らせ下さらんければ、警察の力を藉りてでも、乾度御本人の在所を突き止めねばならんのです。それが御承知ならば、是でお暇を致しますから……。」

「こりやお邪魔をッ。」と、村山は、故意に手痛く捲くしかけて、帽を引寄せながら起ちかゝつた。

左なきだに、途方に暮れぬいて居た總十郎老人は「警察の力を藉りて」の一語には、更に百倍の恐怖と驚愕を加へたらしく、

「もしッ、村山さんとやら、少々お待ち下さい。け、け、け、警察などへ行かれては、それこそ大變で御座います。」と、低頭平身。

年賀用名刺　ハガキ　十五日限り
京城　太平堂名刺舗
電話二七二一番　振替三三六七番

埋火　大田湖南吟社句集

埋火に耽讀の夜や本の反り　不倒
埋火や痼疾の妻に藥煮ろ　同
埋火や火種に盡きて灰温し　待宵
柔耕一卷終へて埋火掻く　春三女
情話燃ねて埋火の灰堆し　淡水
埋火や千鳥ケ淵に浪立つ夜　月波
埋火掻きませ／＼夜中　夢樂天
稀葉ほろ／＼埋火眞壺　同
紅燈淡く埋火に恨あり　桃雨
埋火や夜影のしまる金襖　同
埋火や小鼓あふる能樂師　雅澤
埋火や灰の固まる老の漬　中京
埋火や爐の松風に謠本　酒月
稿繼る埋火抱くや老文士　同
火や慾の魔かき春骨の髓　風骨
埋火や煎藥に貧され古茶碗　同

新刊紹介

▲文藝雜誌（十二月號）　二十錢東京市小石川區原町一三日本文藝協會
▲日本印刷界（十一月號）　イミクチオンヌドルツクに就て、引札の作り方、飾窓を活かす法、廣告物研究俱樂部其他（二十七錢大阪市東區南本町二日本印刷界社）
▲女の世界（十二月號）　貽内を學校と心得よ「釋宗演」女は多辯なる可し「青… 有差」…

讀者の領分

▲夕方漢陽公園に上つて眺めると溫突から立昇る煙が市街の中空に掛つてお向ひの白岳や仁王山は亦然大きな湖水の上に浮び出た小島の樣に見ゆる瓦斯の淡い光と電氣の橙色を帶びた光とを點綴した市街は何と語にある水の底の都の樣な美しい眺である人影の少ない此頃の漢陽ではこんな見事な天然の繪に描かれた繪が見られる（讃美者）▲旭町には塵籍から塵埃を道路に散亂させて居る家があるが甚だ不快に感じる（通行人）▲三日許前職人體の男が十五圓の小切手を一枚持て電車に乘て車掌と小切手を取れいや取れぬで爭論して居たのを向ひに坐つた紳士が見兼て三錢立替てやつて居たが職人は其紳士の住所も名も聞かなかつたが紳士の好意を無にする氣ではないか（同乘者）▲僅々五錢の夜の絕り錢を出されぬ人あり共同生活の一員として何す可きや（憤慨生）

▲日本藥業誌第十三號（創刊號）本誌資料は内容を大別して藥業總論「宮城藥劑師」藥品學講義「伊藤千葉藥學博士」工業藥品講義　井上藥學博士……藥業者試驗問題答案「下山藥劑官」の五とし平易に藥業講義を爲せるものなるを以て藥種商又は藥劑師を志す者に適す可し（會費月五十錢東京市麴町區内幸町一共會）
▲東方時論（十二月號）　支那政局の將來に就て「吉野作造」東方民族の科學的缺陷「大谷光瑞」滿蒙銀行無用論　永井柳太郎余の提唱せる亞細亞モンロー主義「長島隆二」憲政會と政友會「森田」井上「憲政と自治制」「水野博士」現代の社會「田中王堂」等……（三十錢東京市牛込區加賀町二ノ五東方時論社）
▲新公論（十二月號）　卷頭社說「遺傳問題を論じて八四計畫に及ぶ」を初め法學博士松岡均平氏の「日本の植民經營策」田川大吉郎氏の「政黨を救ふの道」田中王堂氏の「政治家の淨化淨化」三大雄篇を收め鬼谷先生の「政界鬼語」影々出でし愈々皮肉を極め小說には新進作家松岡讓氏の「遺言狀」前田晁氏「蠻な人さん」あり其他泉氏の「龍尾の記」厨川白村氏の「思想界」蓮山氏の「東京より」鈴木秋風氏の「小間使が窓に死ぬ迄」磯川逸人氏の「坊うして生くる女」等何れも興趣津々有識者歌俳句家集あり（三十錢東京京橋區加賀町共社）
▲朝鮮公論（十二月號）　牧山社長の朝鮮に於ける人事の異動と民心の一新大養毅の大正國民は此一大時勢を如何に觀る等を初めとし問題の人物大隈從事論には笹川博士川原代議士の觀察あり長谷川新總督に對する希望は原田福郎社長外四氏の希望を載せ米穀取引所設置問題に就ては數名士の說を發表せり其他名士初對面印象記、名士と雅號、美人久龍傳記、醫藥界、雜くらべ、文苑公論、綜演藝欄如例（二十五錢京城太平町二丁目共社）

株式會社漢湖農工銀行春川支店登記事項中變更
大正五年拾壹月貳拾日支店所在地江原道春川郡府内面要仙堂ヲ江原道春川郡府内面大板里ニ移轉シタリ
大正五年拾貳月壹日登記
京城地方法院春川支廳

購買　朝鮮總督府遞信局
一、電信電話用硬銅線類、受話器紐類
丹禁以上參照詳細ハ十二月六日ノ本府官報ニ在リ

購買入札　朝鮮總督府
一、玄米二百石　西大門監獄納
右購買ス詳細ハ大正五年十二月七日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正五年十二月七日

購買　精米　龍山陸軍倉庫
詳細ハ十二月六日以降朝鮮官報ニアリ

大阪期米（六日）

高値	一七,〇八	一七,五〇	一八,二八
安値	一六,九五	一七,三〇	一八,〇九
止め	一七,〇八	一七,五〇	一八,二五

仁川期米

物品拂下廣告
一、細角寒天　六拾六貫四百匁
一、釜二番寒天　六千本
一、寒天　四貫貳百匁
右拂下ス詳細ハ大正五年十二月六日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
大正五年十二月六日
朝鮮總督府

小便の病
小便に幾度となく行きたくなる病
小便した後こゝろ持ちあしき病
膀胱カタル尿道カタル尿道の痛み
小便ニゴリ又は膿や血の出る病
りん病しよかち
右病者は往復ハガキにて照會せらる
最良藥を詳敎す
播磨國加古川東　藤原悅

五龍背温泉
新義州より汽車で卅分

八木田博士御處方　島田博士御鑑査
アナタの胃病はマーゲンで治る
強胃消化錠
本劑の特色
大阪市東區上本町五丁目　田畑保藥房

百圓進呈
りん病　ばいどく
請特製金四圓　合藥特製武圓　藥並製一圓廿錢
九州帝國醫科大學上最有效と確定し東京都下各病院等に於て賞揚配劑せられつゝある高貴藥なる事を保證す若し前述の證言に違へる事を發見せらるゝ時は分析料として金百圓呈進
●あらゆる治療を講ずるも效なき患者兎に角一度相談あれ
にせ物に注意、商會の隆盛を羨み東京大連青島其他ある處京城僞物を賣る奸商あり商會製劑を御購求の諸君は大阪有田へ直接御買取可被下候
●返信券添へ照會あれ詳細回答す
大阪ドラッグ商會
他ノ藥店ニ販賣ヲ許サズ
京城南大門外　大阪グッドラッグ商會
振替京城四六七番　電話長二五六番

ストーブ各種
京城本町一丁目
輸入金物商　佐野彦商店
電話一六二番・振替口座京城一二〇番
地方よりの御注文の節は迅速に御送付申上候

男の生殖器病
生殖器發育不完全で包莖、陰萎、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、快感減少、腦神經衰弱等の人は自宅で簡單秘密に新案特許眞空療法器と因療藥を併用する時は一回毎に効力が現はれ豫想外の偉效に驚くべく名博士も其實効を證明し實驗諸氏の賞讃湧くが如しハガキで申込あれ入說明書無代で入目に判らぬ樣密送す來所者には醫院部にて懇切說明す
効顯卓絕なる專門器一度實驗せよ
東京神田かぢ町五　眞空療法研究所
電話神田七二二番

昔も　今も
効能　逆上を引下げ便通をよくし梅毒其他諸毒をくだす
効能で賣れるひゑきそり
大日本大阪　電話…　振替…
本家七ふくや伊藤長兵衛

眼科内科小兒科
京城黃金町三丁目赤門通（電話二四四三番）
入院隨意
本田醫院
院長　本田建義

フエローール
日今醫學界に盛に推奬せらるゝ滋養强壯料にして人體の生存に缺く難く而も各人が日毎に消耗しつゝある重要營養を補給し健康増進の目的を達成す
▲發育保全　最高
▲補血營養
▲最高滋養　滋養

而もフエロールは極めて佳快なる美味芳香あり小兒婦人又藥嫌ひの人の嗜好に適す
定價　●小瓶一圓　●大瓶一圓七十錢　●試用二十錢　▲各藥店にあり
創業元　大阪道修町　藥劑師　小西久兵衛
家庭適應症　●本品には次の各種あり御申込次第說明書進呈「フエロール」は一般强壯用「グアヤコールフエロール」は肺結核、氣管枝、肋膜、肺尖加答兒等呼吸器病に適用。「アルゼン、フエロール」は一般慢性諸症、殊に白色の皮膚を保ち長病者には適用。沃度フエロールは發育不全の小兒、徽毒患者又一般婦人强壯用に適用す

貯蓄預金
元金百圓ニ付日歩壹錢三厘金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黃金町電話四二〇番　五八〇番
振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所
龍山元町二丁目　電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行
○立神丸　十一月…日後五時出帆
○小倉丸　十一月…日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行
○立神丸　十一月…日後十時出帆
○小倉丸　十一月…日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
○第三琴平丸　十月…日後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行
○第三琴平丸　十月廿八日後六時出帆
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天員丸　毎月二日八日十四日廿日廿六日午後十時出帆
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

朝鮮郵船出帆
本社　電話長一九五二番・二三一番
總督府命令航路各線
京城荷客取扱店　松原運送店（電話長一七〇番）
○全羅丸　十二月十一日　釜山發
○京畿丸　十二月十六日
○黃海丸　十二月廿一日
○成鏡丸　十二月十一日
○稷城丸　十二月十三日　元山發
○昌平丸　十二月十一日
○鏡城丸　十二月十一日
○第二錦旗丸　十二月十一日　元山發
○忠淸丸　十二月十七日
○平壤丸　十二月二十日
○爲德丸　十二月九日　釜山發
○江陵丸　毎日　釜山發
○襄陽丸　浦項
○三浦丸　十二月十一日　釜山發
○濟州丸　○慶寶丸　毎日　釜山發
○順天丸　三日目每ニ　木浦發
○慶興丸　十二月九日　木浦發
○慶興丸　十二月十二日　木浦發
○公州丸　十二月七日　木浦發
○宗信丸　十二月八日　仁川發
○江原丸　十二月七日　仁川發
○肥水丸　十二月十一日　仁川發
○全州丸　○南陽丸　毎日午前　仁川發

朝鮮諸官衙受驗必携書案内
書名　著者　定價
朝鮮諸官衙受驗者必讀　法律講義　阪上綱吉　特　七五
同　法律問答　同　四〇
同　作文軌範　全　安達大壽計　四〇
同　會話譯文速成　全　同　四〇
同　朝鮮行政法規大意　同　四〇
同　續編　同　四〇
朝鮮行政法要論總論　田中次郎・永野清共著　一、〇〇
同　各論　同　一、〇〇
朝鮮總督府巡查受驗提要　永野清　特四五
朝鮮熟語解譯　全　山之井蠻治　五五
日鮮書朝文獨習　大田正範　五〇
國語辭書　小野綱方　八〇
國語寶鑑　安達大壽計　特　六〇
普通文官受驗提要　古川幸一郎　七〇
改訂考試提要　原　友己　特四五
鮮文普通文官歷試提要　山之井蠻治　七〇
受驗準備大成　…　一、〇〇
公文用字例　江原　一、〇〇
帝國六法全書　有斐閣發行　並一、三〇
ペン數字練習帖　大阪屋號編　一、〇〇
京城本町二丁目　大阪屋號書店

質
京城黃金町二丁目
永樂町（…所北入）
堀佐營業所
（電話六三九番）

忌明御禮
男志方麟兒

泉醴泉間自動車時間
金泉織居自動車支部
金泉電話四八番
▲小荷物運搬仕候

大邱浦項間自動車時間
大邱出張所
大塚農場自動車部
電話一一七番

日本郵船出帆
○大連、太沽行
三河丸　十二月十一日　正午出帆
○大連、秦皇島行
相模丸　十二月十二日　正午出帆
砂丸　十二月廿一日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　堀回漕部

尼崎汽船出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
○大有丸　十二月十七日後四時出帆
○秀吉丸　十二月十一日後四時出帆
○君が代丸　十二月十三日後四時出帆
○神代丸　十二月…日後四時出帆
仁川海岸通三丁目　電話五十九番　高杉回漕部

共同汽船出帆
芝罘、大連行（關東都督府命令航路）
共同丸　十二月十二日入港　十二月十二日正午出帆
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　本町四丁目（電話一七三番）　野口商會
元山代理店　（電話二四七番）　田口回漕部
京城取次店　南大門（電話二六八・二〇一七）　河村運送店

大阪商船出帆
○外航路所屬船舶に接續する場合は五分以上の延遲を以て到着以後の…
○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
○安東丸　十二月十六日
○漳州丸　十二月十九日後五時出
○天草丸　十二月十二日
○木浦丸　十二月廿三日後二時出
○信濃川丸　十二月卅一日後二時出
○群山、釜山、木浦、長崎行
○群山丸　十二月廿六日後二時出
○開州丸　十二月十七日
○木浦、釜山、門司、大阪行
○大安丸　十二月十日後二時出
○鎮南浦、大連行
○信濃川丸　十二月九日後二時出
○潮州丸　十二月十一日正午出帆
○開州丸　十二月廿一日
○鎮南浦、神戸大阪行
○須磨丸　十二月十四日正午出帆
○浦項、仁川、濟南行
○日光丸　十二月廿五日後三時出
○安平丸　十二月十一日後二時出
○宮島丸　十二月十一日後二時出
○上海、基隆　打狗行
○基隆丸　十二月十五日午前六時出
○淡水丸　十二月十…日
御注意　切符發賣所
京城切符發賣所　大阪商船株式會社仁川支店
電話…　内鮮運送會社支店